

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによく読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。
(商品の適用車種はHonda販売店にご確認ください。)
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。
安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書とセキュリティカードも一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

- ・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

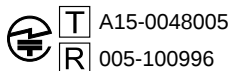
事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。



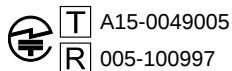
※ VXM-165VFIはHDMIケーブルによる外部機器の接続・視聴に対応していません。

- BLUETOOTH[®] 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

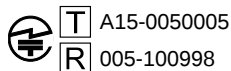
VXM-165VFNI



VXM-165VFEI



VXM-165VFI



もくじ

本書の読みかた	6
---------	---

はじめに A-1

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-5
各部の名前	A-8
本機の電源を入れる／切る	A-9
ディスプレイの角度を調節する	A-11
本機の機能制限について	A-11
タッチパネルの操作について	A-12

地図画面 B-1

現在地の地図画面を表示する	B-2
地図画面の操作ボタン／表示内容	B-2
地図画面の表示設定をする	B-5
自車位置設定(現在地の修正)をする	B-9
地図をスクロールする(地図を動かす)	B-10
設定メニューについて	B-11
地図の向きを変える／地図を3D表示にする	B-12
地図の縮尺を変える(拡大／縮小する)	B-13
QUICKメニュー	B-14
右画面表示をする	B-16

目的地を探す C-1

目的地メニューから目的地設定方法を選ぶ	C-2
名称で目的地を探す(施設50音)	C-3
住所で目的地を探す	C-4
目的地履歴の中から目的地を探す	C-5
登録地点で目的地を探す	C-5
周辺にある施設から目的地を探す	C-6
地図から目的地を探す	C-7
施設のジャンルから目的地を探す	C-8
郵便番号で目的地を探す	C-9
電話番号で目的地を探す	C-10
マップコードで目的地を探す	C-11
緯度・経度で目的地を探す	C-11
目的地メニューをカスタマイズする	C-12

ルート探索・案内 D-1

ルートを探索する	D-2
自宅を登録する	D-4
自宅までのルートを探索する	D-4
ルート案内をストップ／スタートする	D-5
ルート上の渋滞地点を確認する	D-5

経由地をスキップする	D-5
ルートを変更(ルート編集)する	D-6
現在のルートを表示する	D-7
現在のルートを保存する	D-8
現在のルートを削除する	D-8
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-8
迂回探索する	D-9
再探索をする	D-10
音声案内の音量を調整する	D-10
ルート探索の設定をする	D-11
表示・音声の案内設定をする	D-15

オーディオ E-1

AUDIOメニューから再生(視聴)する	
ソースを選ぶ	E-2
オーディオをON／OFFする	E-3
オーディオの音量を調整する	E-3
オーディオ画面／全画面時計表示に切り換える	E-3
ディスクを挿入する／取り出す	E-4
CDを聞く	E-4
DVDを見る	E-7
DVDの設定をする	E-10
TVを見る	E-13
TVの設定をする	E-18
ラジオで交通情報を聞く	E-19
FM／AMを聞く	E-20
iPodのミュージックを聞く	E-22
iPodのビデオを見る	E-24
iPodの接続	E-25
Music Rackの音楽を聞く	E-26
BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て	E-28
BLUETOOTH Audioを聞く	E-30
SDカードを挿入する／取り出す	E-32
WALKMAN®／USBメモリーを 本機に接続する	E-33
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの 音楽を聞く	E-33
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの 画像を見る	E-36
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの 動画を見る	E-37
外部機器の映像／音声を視聴する	E-38
オーディオ設定をする	E-40
AUDIOメニューをカスタマイズする	E-44

Music Rack(録音と曲管理) F-1

音楽CDを録音する	F-2
-----------	-----

録音設定をする	F-4
録音した曲を削除する	F-5
お気に入り登録をする	F-6
ジャケット写真を登録する	F-8
Gracenote データベースの更新について	F-9
Gracenote データベースを初期化する	F-10
録音した曲のタイトル情報を修正する	F-10
再生しないアルバム／トラックを選ぶ	F-12
Music Rack の使用容量を確認する	F-12

携帯電話との連携 G-1

携帯電話のBLUETOOTH接続	G-2
NaviConを使用する	G-4
Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う	G-6
ハンズフリーで電話する	G-8
ハンズフリーの通話設定をする	G-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する	G-14

その他の機能と設定 H-1

VICS 情報を見る	H-2
FM多重放送(VICS受信)の選局をする	H-4
VICS 情報の地図表示設定をする	H-5
ETC/ETC2.0の設定をする	H-6
ETC 情報を見る	H-7
ドライブレコーダーの操作・設定をする	H-8
記念距離メモリー	H-12
フロントカメラ／コーナカメラ映像を 表示する	H-14
フロントカメラ／コーナカメラの 設定をする	H-15
リアカメラ映像を表示する	H-16
リアカメラ de あんしん プラスを使用する	H-18
カメラについて	H-20
走行軌跡を記録する	H-21
地点登録をする	H-22
自宅／登録地点の編集をする	H-23
自宅／登録地点を削除する	H-25
後席会話サポート機能を使う	H-26
ステアリングリモコン設定をする	H-26
オプションボタンを設定する	H-28
キー操作音を設定する	H-28
セキュリティ機能を設定する	H-29
画面の画質調整とサイズ切替をする	H-30
画面を消す	H-31
データを初期化(消去)する	H-32
本体情報を見る	H-32

困ったとき I-1

故障かな?と思ったら	I-2
こんなメッセージが表示されたら	I-19

必要なとき J-1

GPS 電波受信と現在地測位	J-2
ルート案内について	J-4
ルート探索について	J-6
VICSについて	J-7
地図ソフトについて	J-10
市街地図(10 m / 25 m / 50 mスケール)の 収録エリア	J-14
表示できる施設	J-18
文字入力画面について	J-20
Gracenote データベースについて	J-22
ディスクについて	J-24
SDカードについて	J-26
iPodについて	J-27
WALKMAN® / USB メモリーについて	J-28
BLUETOOTHについて	J-30
リア席モニターについて	J-33
音楽ファイルについて	J-34
画像ファイルについて	J-36
動画ファイルについて	J-37
テレビ／ラジオの受信について	J-39
仕様	J-40
初期設定一覧	J-41
別売品(システムアップ)について	J-44
商標など	J-46
保証とアフターサービス	J-50
さくいん	J-51

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご確認ください。

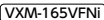
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
	標準キーを表します。
	タッチパネルのボタンを表します。

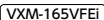
使用上の注意事項など

- 本機の操作
 - ・ 運転中の操作は避け、停車して行ってください。
 - ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によるSDカードやUSBメモリー内などの保存データの消失などについては補償できません。

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

本書では代表としてVXM-165VFEiのイラスト／画像を記載しています。
機種により機能や操作が異なる箇所には、機種名を記載しています。

VXM-165VFNi : 

VXM-165VFEi : 

VXM-165VFi : 

A

はじめに

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-5
各部の名前	A-8
本機の電源を入れる／切る	A-9
起動画面を変更する	A-10
ディスプレイの角度を調節する	A-11
本機の機能制限について	A-11
タッチパネルの操作について	A-12
ページ送り／リスト送りをする	A-13

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



実際の交通規制に従う

道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。交通事故の原因となりますので、必ず実際の交通規制に従って走行してください。

リアカメラシステムは補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する

交通事故の原因となります。

フロントカメラ／コーナーカメラは補助手段として使用し、直接目視による安全確認をしながら運転する

交通事故の原因となります。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

警告



分解禁止

本機を分解したり、改造をしない

交通事故・火災・感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。



運転者は走行中に本機や携帯電話の操作をしたり、画面を注視しない

交通事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させた状態で行ってください。

車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

ねじなどの小物部品やカード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

注意



取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。



液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをすることがあります。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。
また、TVやDVDなどの映像ソースは走行中は映像表示をせず、音声のみ流れます。
操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻る場合があります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに結露(水滴)が生じることがあります。このままではレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が非常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

使用上のお願い

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 画面にいつも同じ色に光る点やいつも黒い点が現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。
- ディスプレイ表面は傷つきやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

ディスプレイのお手入れについて

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押ししたり、硬い布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。

GPS アンテナについて

- GPS アンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPS アンテナの上に物を置いたり、布などをかぶせたりしないでください。GPS 衛星の電波を受信できなくなります。
- GPS アンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPS アンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。

フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布で拭いてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

外部接続機器(iPod／WALKMAN[®]／USBメモリー／VTR 機器／携帯電話)について

- 外部接続機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 外部接続機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

著作権について

お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSBメモリーなどは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機をHonda車以外の車両や業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、保証対象外となります。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

その他

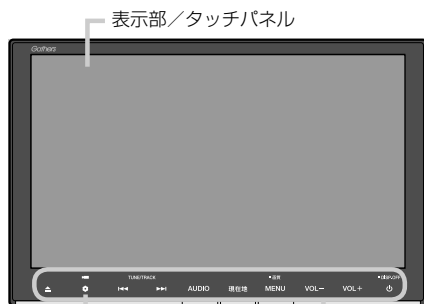
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- バッテリー交換のときなど本機への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 本機の時計表示は、車両装備の時計と時間表示が異なる場合があります。

各部の名前

ディスプレイを閉じているとき

VXM-165VFNi | VXM-165VFEi

※ VXM-165VFNi と VXM-165VFEi の画面サイズは異なります。



セキュリティインジケータ
H-29

標準キー

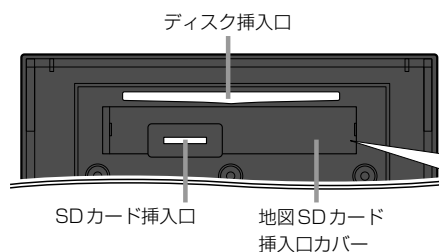
VXM-165VFi



セキュリティ
インジケータ
H-29

標準キー

ディスプレイを開いているとき



ディスク挿入口

SDカード挿入口

地図SDカード
挿入口カバー

標準キーの主なはたらき

▲ キー

ディスプレイを開く／閉じる^{*1}ときに押します。

⦿ ボタン(オプションボタン)

オプションボタン画面で設定した機能を動作させます。

⏮ / ⏭ キー

- 選局または選曲をします。
- 押し続けると、早戻し／早送りします。

AUDIO キー

オーディオ画面に切り換えたり、AUDIO メニューを表示します。

現在地 キー

現在地の地図画面に切り換えます。

MENU キー

- 目的地メニューを表示します。
※ DVD 再生中は再生操作ボタンを表示します。
- 長押しすると画面／画質調整画面を表示します。

VOL - / VOL + キー

オーディオ音量／ハンズフリー受話音量／音声案内音量を調整します。

※それぞれの音声が出力中の間、調整できます。

⏻ キー

- オーディオを ON／OFF します。
- 長押しすると、画面を消して黒画面にします。

* 1…地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。下記の手順で、正しく取り付けてください。

地図SDカード挿入口カバーの取り付けかた



- ① 地図SDカード挿入口カバーを、くぼみの左端に合わせてはめこむ。
- ② カチッと音がするまで、矢印の方向にスライドさせる。

本機の電源を入れる／切る

本機の電源は車のエンジンスイッチと連動します。

電源を入れる	車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れる。
電源を切る	車のエンジンスイッチをロックに入れる。

はじめに

バッテリーまたは本機を一度車から外した後に起動した場合

起動直後にセキュリティコード入力画面が表示されますので、セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。



※セキュリティコード(数字5桁)はセキュリティカードに記載されています。(セキュリティカードは、なくさないよう保管してください。)

※規定回数間違えると、一定時間操作ができなくなります。

※セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

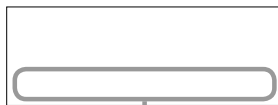
※セキュリティコードを変更することはできません。

※次回、セキュリティコードを入力せず起動(セキュリティ設定解除)するには **設定** H-29

セキュリティカード

Gathers

本機をバッテリーから取り外し、再度電源を入れる際にはセキュリティコードを入力しないと起動しません。画面に従いセキュリティコードを入力してください。



ラベルの一番下の行にセキュリティコードが記載されています。

本機の電源を入れる／切る

起動画面を変更する

本機の電源を入れたときに表示される画面を変更できます。

起動画面



準備

起動画面の画像を弊社Webサイトから入手し、SDカードに取り込んでください。
※入手先やSDカードへの取り込み方法は、弊社Webサイトのナビゲーションページ
<http://www.honda.co.jp/navi/> をご覧ください。

1

起動画面の画像を取り込んだSDカードを本機に挿入する。

2

MENU → **設定／情報** → **システム設定** → **その他設定** → **起動画面変更** をタッチする。

3

SDカードから設定する をタッチする。

お知らせ

"Gathers" 画像に戻す をタッチすると、お買い上げ時の起動画面に戻すことができます。

お知らせ

- SDカードに取り込んだ起動画面の画像は、他の用途には使えません。
- 起動画面には弊社Webサイトで提供する専用画像のみ対応しています。

ディスプレイの角度を調節する

VXM-165VFiのみ

ディスプレイの角度を手動や工具を使って無理やり調節しないでください。ディスプレイに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

1 ▲を押す。

2 ▼／▲をタッチする。

※ディスプレイの角度を5段階に調節できます。



お知らせ

- 本機の電源を切ると、ディスプレイは閉じます。
- 角度調節後は、本機を起動したとき調節した角度に自動でディスプレイが開きます。

本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記の機能が使えない場合があります。
該当する車両やグレードの詳細については、下記のホームページをご確認ください。
<http://www.honda.co.jp/navi>

分 類	機 能	詳 細
時計	車両メータ内時計の連動機能	本機から車両のメータに時刻情報を送信し、メータ内時計の時刻を合わせて連動させる機能
インターナビ	eco 情報	車両に蓄積されたデータをもとに燃費・ガソリン消費量・CO ₂ 排出量などのeco情報を、パーソナル・ホームページで確認できる機能
リアカメラ	ダイナミックガイドライン	ハンドル角度にあわせてリアカメラのガイドラインを変化させる機能 [P H-16]
その他	記念距離メモリー	総走行距離が指定の距離に到達した時の日時・位置情報等を記録する機能 [P H-12]
	イルミ減光キャンセル機能 ^{*1}	車両のイルミ減光キャンセル機能に連動し、本機の画面を昼画面輝度に自動で切り換える機能

* 1…車両インストルメントパネル照明が減光しているとき(車両イルミスイッチ ON 状態)、インストルメントパネル照明調整ノブを最大方向に回すと、減光状態が解除される機能。調整ノブの配置など、当機能の詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。

タッチパネルの操作について

タッチ

画面に軽く触れます。



- 画面に表示されたボタンなどをタッチして本機の操作ができます。

ドラッグ

画面をタッチしたまま、なぞるように指を移動します。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面でスクロール操作ができます。

フリック

画面をサッとはらうように指を動かします。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面でスクロール操作ができます。

ピンチ

2本の指で画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。



- 地図画面でつまむようにすると縮小、広げるようにすると拡大します。

2回タッチ

1本の指ですばやく2回画面をタッチします。



- 地図画面で2回タッチすると拡大します。

2点タッチ

2本の指で画面を1回タッチします。



- 地図画面で2点タッチすると縮小します。

タッチパネルの操作は指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面に傷が付いたり、誤動作の原因となります。

タッチパネルのボタンが暗く表示されているときは操作できません

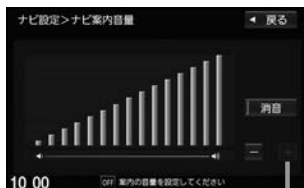
タッチパネルのボタンはタッチしても操作できない状況のとき、暗く表示されます。

操作できない状況の例

- 走行中のため、操作できないようにしている
- ディスク未挿入なので、**CD/DVD** がタッチできない
- 設定値が上限に達したため、**+** がタッチできない

上記のほか動作条件を満たしていない場合、タッチパネルのボタンは暗く表示され、操作できません。

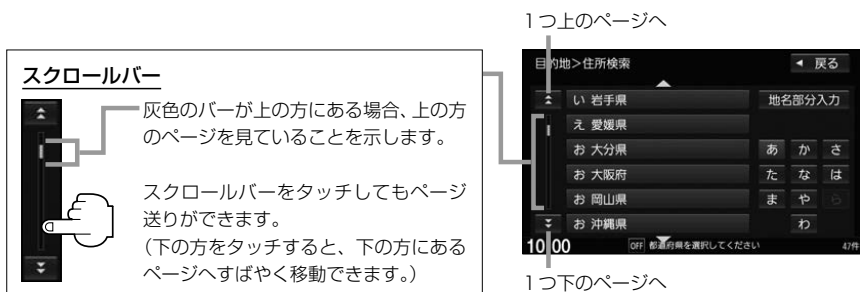
ナビ案内音量画面(例)



+ : 操作可
- : 操作不可

ページ送り／リスト送りをする

設定画面やリスト画面などで項目が多い場合、複数のページにわたって表示されることがあります。このような画面では、▲／▼をタッチしてページ送り／リスト送りをしてください。



リスト画面では以下の操作でリスト送りすることもできます

• ドラッグ／フリックする

※ドラッグ／フリックできない場合は、リスト画面をしばらくタッチして、▲／▼マークが表示されてから、操作してください。

• ひらがなボタンをタッチする。

一部のリスト画面では、ひらがなボタンが表示され、タッチしたひらがなを頭文字に持つリストまですばやくリスト送りできます。(例えば「な」をタッチすると、「奈良県」・「新潟県」など「な」行から始まる名称のリストまでリスト送りします。)



お知らせ

走行中はページ送り／リスト送り操作が制限されます。

▲／▼をタッチしてページ送り／リスト送り

ページ／リストの一番上で▲をタッチすると、一番上から一番下へ移動できます。

※BLUETOOTH Audioのトラックリストなど、上記の移動ができない場合があります。

スクロールバーをタッチしてページ送り／リスト送り

- TVのチャンネルリストやBLUETOOTH Audioのトラックリストなど、スクロールバーをタッチしてページ送り／リスト送りできない場合があります。
- BLUETOOTH Audioのトラックリストなどで、スクロールバーに灰色バー表示(全体のどの部分を見ているかの表示)をしない場合があります。

ドラッグ／フリックしてリスト送り

TVソース(チャンネルリストなど)、FM／AMソース(放送局リストなど)、DVDソース(タイトルリストなど)のリスト画面では、ドラッグ／フリックによるリスト送りはできません。

(その他のリスト画面でも、画面をしばらくタッチして▲／▼マークが表示されない場合は、ドラッグ／フリックによるリスト送りはできません。)

B

地図画面

現在地の地図画面を表示する	B-2
地図画面の操作ボタン／表示内容	B-2
地図画面の表示設定をする	B-5
自車位置設定(現在地の修正)をする	B-9
地図をスクロールする(地図を動かす)	B-10
設定メニューについて	B-11
地図の向きを変える／地図を3D表示にする	B-12
地図の縮尺を変える(拡大／縮小する)	B-13
QUICK メニュー	B-14
QUICK メニューを使う	B-14
QUICK メニューをカスタマイズする	B-14
右画面表示をする	B-16

現在地の地図画面を表示する

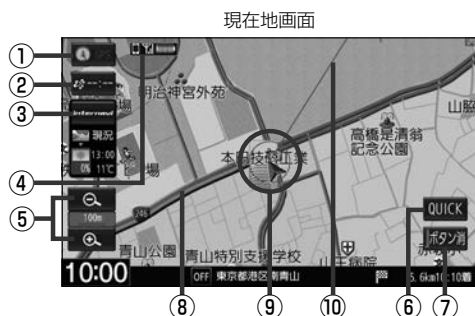
1 現在地を押す。

お知らせ

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。現在地の位置が補正されます。

地図画面の操作ボタン／表示内容



① 方位ボタン／GPS受信表示



タッチすると地図表示(向き／3D)を切り換えることができます。

現在地の測位の状態を円の色で示します。
青色：現在地の測位ができています。
灰色：現在地の測位ができていない、または測位計算中です。

お知らせ

測位に時間がかかる場合があり、本機を起動してしばらくはGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

② VICS ボタン／VICS 情報提供時刻表示



ルート案内中にタッチすると、地図画面を渋滞／規制地点へ切り換えます。

VICS 情報提供時刻を表示しています。

③ internavi ボタン／気象予報アイコン



タッチするとinternavi画面に切り換えます。
internavi ウェザーの気象予報を表示しています。

別冊インターナビ・リンク プレミアムクラブ編

④ ハンズフリー電話のアイコン

携帯電話を登録して“ハンズフリー”に割り当て設定すると携帯電話アイコンが表示されます。



：ハンズフリーで電話ができる状態
(BLUETOOTH接続中)



：ハンズフリーで電話ができない状態
(BLUETOOTH接続していない)

⑤ 地図の拡大・縮小ボタン



タッチすると地図を縮小します。



地図の縮尺を示します。



※背景色が茶系色のときは市街地図表示中であることを示し、灰色のときは通常地図表示中であることを示しています。



タッチすると地図を拡大します。

⑥ QUICK ボタン

タッチするとQUICKメニューを表示します。

⑦ ボタン消 ボタン

タッチすると①～⑥の表示を消します。
(タッチするたびに表示⇄非表示が切り換わります。)

⑧ 探索したルート

ルート案内中、探索したルートを表示しています。
(水色:有料道、ピンク色:一般道)

⑨ 自転車マーク

▲進行方向 自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。
※地図が3D表示のとき、スクロール画面では自転車マークをで表示

⑩ 目的地方向表示

ルート案内中、赤い直線で目的地の方向を表示しています。
※スクロール画面では、スクロール先から現在地までを赤い直線で表示しています。

⑪ 微調整 ボタン

スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)

⑫ 設定 ボタン

設定メニューを表示します。 B-11

⑬ 情報バー

再生中のオーディオソースマークなどが表示されます。

道路の表示

青色 : 高速道路、有料道路
赤色 : 国道
緑色 : 主要地方道、県道
青色(破線) : フェリー航路
灰色 : 一般道、細街路
※細街路: 道幅5.5 m未満の道路

お知らせ

- 建設中の道路など地図ソフト作成時点で未開通の道路は、計画道路(破線)として表示されます。
- 計画道路(破線)はルート探索できません。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。
- 設定や縮尺により、道路の表示がされなかったり、表示色が左記と異なる色で表示される場合があります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
※細街路を走行しているときは、細街路表示をします。
※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

地図画面の操作ボタン／表示内容

地図表示記号(例)

	都道府県庁舎 (灰色)		飛行場・空港		展望タワー
	市役所・特別区庁舎 (灰色)		港		動物園
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		フェリーターミナル		植物園
	官公署・市町村役場支所(出張所)		ファミリーレストラン		水族館
	消防署(含む:分署・支署・出張所)		山頂		ゴルフ場
	自衛隊		工場		温泉
	学校		一方通行記号		スキー場
	病院		交差点		遊園地・テーマパーク
	警察署・交番・駐在所		サービスエリア		テーマパークゲート
	図書館		パーキングエリア		キャンプ場
	海水浴場・(湖水、池)水泳場		インターチェンジ		スタジアム
	デパート・スーパー・ショッピング施設		ジャンクション		公園
	スーパーマーケット・その他ショップ		料金所		マリーナ
	ホテル・旅館・宿泊施設		ランプ(出入口)		盗難多発地点
	史跡・旧跡、観光名所		ランプ(出口専用)		
	神社		駐車場		
	寺院(仏閣、地藏)		運動施設		
	教会		サッカースタジアム		
	城・城跡		墓地		
	美術館		冬季通行止め		
	博物館		その他目標施設		
	郵便局		ウインズ		
	銀行		ガソリンスタンド		

立体アイコン(例)

	東京タワー		新宿センタービル		神宮球場		松江城		日本武道館
	横浜ランドマークタワー		東京都庁(第一庁舎)		通天閣		原爆ドーム		JR 東京駅

地図画面の表示設定をする

地図画面の表示に関する設定は、QUICKメニューのTUNE画面、ナビ設定の表示設定画面で行うことができます。(設定項目によって設定画面が異なります。)

QUICKメニューのTUNE画面で地図表示設定をする

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** → **TUNE** をタッチする。
- 2 **マップ** をタッチし、各項目についてボタンをタッチして設定する。



地図画面

地図色

昼モードの地図色、夜モードの地図色をそれぞれ設定できます。(4パターンから選択)

- ① どちらのモードの地図色を設定するか **昼** / **夜** を選んでタッチする。
- ② **ノーマル** / **道路メイン** / **ポップ** / **ハイコントラスト** から選んでタッチする。
ノーマル標準的な表示
道路メイン道路の色を識別しやすい色で表示
ポップ地域で色分けをして表示
ハイコントラスト ...車内が暗くなったときに見やすくなるよう、色を調整して表示

お知らせ

昼モードと夜モードの切替設定については「**B-7「昼夜切替」**」

文字サイズ

地図に表示されている地名などの文字サイズ(**小** / **標準**)を設定できます。

※右画面の地図の文字サイズ設定は「**B-6「名称の文字サイズ」**」

自車マーク

自分の車の位置を示すマークを変更できます。

地図画面の表示設定をする

ナビ設定の表示設定画面で地図表示設定をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **表示** をタッチする。
- 2 各項目の設定ボタン(**する**／**しない** など)を選んでタッチする。



地図モード

地図表示(向き／3D)を設定できます。

- 北向き** …… 北方向が常に上に向くよう地図表示
- 進行方向** …… 進行方向が常に上に向くよう地図表示
- 3D** …… 3D 地図で表示

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

3D 視角調整

地図が3D表示のときの角度を調整できます。

-  …… 角度を下げる
-  …… 角度を上げる

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

吹き出しを表示

高速道路出入口や主要交差点の名前を吹き出しで表示 **する**／**しない** を設定できます。

※表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない場所では表示しません。

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

標高地図を表示

縮尺が10 km以上の地図画面では、地形地図で表示 **する**／**しない** を設定できます。

※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

右画面に地図表示

右画面に地図を表示 **する**／**しない** を設定できます。

名称の文字サイズ

右画面の地図に表示されている地名などの文字サイズ(**標準**／**小**)を設定できます。

※メイン画面の地図の文字サイズ設定は「 B-5 「文字サイズ」

ナビ設定の表示設定画面で地図表示設定をする

昼夜切換

時間連動 ……地図色の昼モード／夜モードを日付・時刻をもとに自動で切り換え

昼／夜 ……地図色を選んだモード(**昼**：昼モード、**夜**：夜モード)で表示

スモール連動 ……地図色を車のライトON／OFFに連動して自動で切り換え
(車のライトON：夜モードで表示、車のライトOFF：昼モードで表示)

標高地図色

標高地図の色を **標準**／**春**／**夏**／**秋**／**冬** から選んで設定できます。

※ **季節連動** を選ぶと日付をもとに標高地図色を自動で切り換えます。

(3月～5月：春、6月～8月：夏、9月～11月：秋、12月～2月：冬)

MAPCODEを表示

情報バーにマップコードを表示 **する**／**しない** を設定できます。(マップコードについて[APC-11])

地図情報を表示

情報バーに表示する地図情報を住所名／道路名のどちらで表示するか設定できます。

住所名 ……周辺の住所を表示

道路名 ……地図データに収録されている道路を走行しているとき道路名を表示

※道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。

※GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

Audio情報を表示

情報バーに、再生中の曲名やラジオ周波数、放送局名などを表示 **する**／**しない** を設定できます。

※情報バーにAudio情報が表示されるのは現在地表示のときのみです。

※BLUETOOTH Audio再生時は曲名が表示されない場合もあります。

緯度・経度を表示

地図画面(現在地の地図画面は除く)に、緯度・経度を表示 **する**／**しない** を設定できます。

登録地を表示

地図画面に登録地点のマークを表示 **する**／**しない** を設定できます。

時計表示

時計の表示を **する**／**しない**／**映像中はしない** から設定できます。

映像中はしない ……テレビやビデオなどの動画を全画面表示で見ているときは時計表示しない

地図画面の表示設定をする

ナビ設定の表示設定画面で地図表示設定をする

右画面 AV を表示

右画面にオーディオ画面を表示 **する** / **しない** を設定できます。

※走行中は音声のみとなります。

ランドマーク

下記“ランドマーク表示”が **する** のときに、どの施設のランドマークを表示するか設定できます。

- ① **設定する** をタッチする。
- ② リストから表示したい施設のジャンルをタッチして✓印を付ける。

※ボタンをタッチするたびに✓印の有無が切り換わります。



▶マークがあるジャンルは、そのジャンル内の各施設について個別に表示設定ができます

▶マークのあるジャンルをタッチすると、下記のよう画面が表示されるので、ランドマーク表示したい施設をタッチして✓印を付けてください。



お知らせ

- ランドマークは、縮尺が400 m以下の地図画面で表示されます。
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。

ランドマーク表示

ランドマークを表示 **する** / **しない** を設定できます。

自車位置

B-9

走行軌跡

H-21

自車位置設定(現在地の修正)をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **表示** をタッチし、
“自車位置” の **修正する** をタッチする。

- 2 地図をスクロールし、自車位置に設定したい場所へカーソル(—|—)を合わせる。

- 3 カーソル(—|—)の位置を確認し、
セット をタッチする。

—お知らせ—

地図の縮尺は拡大しておくと、より正確な位置の修正ができます。



カーソル(—|—)

- 4 進行方向/角度をタッチして、
自車マークの角度を修正し、
セット をタッチする。



道路切換 で自車位置を修正する

道路切換 をタッチすると、画面の自車マークを近くの別の道路へ移動させることができます。
例えば、一般道に自車マークが表示されているが、実際はすぐ近くの有料道を走行している場合などに利用できます。

※あらかじめ QUICK メニューに **道路切換** を設定しておく必要があります。

- ① 現在地の地図画面で **QUICK** → **道路切換** をタッチする。
⇒ **道路切換** をタッチ後、しばらく走行すると自車位置が修正(近くの別の道路に移動)されます。

—お知らせ—

- **道路切換** は自車マークのある道路と実際に走行中の道路が近くにある場合のみ有効です。
- 実際に走行中の道路に自車位置を修正できない場合があります。
- 有料道へ自車位置を修正した場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

地図をスクロールする(地図を動かす)

地図画面をタッチ／ドラッグ／フリックすると、地図がスクロールします。

※走行中はスクロール操作が制限されます。

地図画面をタッチ



タッチした場所が中心になるよう地図がスクロールします。タッチし続けると、スクロールし続けます。

地図画面をドラッグ



指の動きに合わせて、地図がスクロールします。

地図画面をフリック



フリックした方向に、地図がスクロールします。

3D表示では地図を回転させることもできます

3D表示の地図をスクロールすると、

👉/👈が表示されます。

👉をタッチ：カーソル(→)を中心に右回転(時計まわり)

👈をタッチ：カーソル(→)を中心に左回転(反時計まわり)



お知らせ

最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図をスクロールして現在の縮尺の地図が収録されていない地域になると、地図が切れたような画面になります。そのままスクロールを続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。

微調整する

※3D表示の地図では微調整ができません。

1 地図をスクロールし、**微調整** をタッチする。

2 スクロールしたい方向の矢印をタッチする。

※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。

※👉以外をタッチしてもスクロールしません。

※微調整が終了したら **調整終了** をタッチしてください。通常のスクロール画面に戻ります。



1-1 地図をスクロールして

1-2 **微調整** をタッチ



2 📏をタッチ

設定メニューについて

地図をスクロールすると、カーソル(—|—)と**設定**ボタンが表示されます。

設定をタッチすると設定メニューが表示されます。



カーソル



設定をタッチ



設定メニュー

設定メニュー内のボタンをタッチすると以下の操作を行うことができます。

ここに行く	カーソル(— —)の場所を目的地に設定します。
出発地設定	カーソル(— —)の場所を出発地に設定します。 ※ 出発地設定 はルート編集で出発地変更する場合に表示されます。
立寄る	カーソル(— —)の場所を経由地に設定します。 ※ 立寄る はルート案内している場合にタッチできます。
5ルート	カーソル(— —)の場所を目的地に設定して複数ルート探索をします。
自宅登録	カーソル(— —)の場所を自宅に登録します。 ※ 自宅登録 は目的地メニューで自宅登録する場合に表示されます。
地点登録	カーソル(— —)の場所を地点登録します。
地点編集	地点編集 は登録地点にカーソル(— —)を合わせた場合に表示され、その登録地点の編集ができます。 ※ 地点編集 は地図が3D表示の場合は表示されません。
周辺検索	カーソル(— —)の場所周辺の施設検索ができます。
施設詳細	施設詳細 は施設のランドマークや盗難多発地点にカーソル(— —)を合わせた場合に表示され、その施設／盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。 ※ 施設詳細 は地図が3D表示の場合は表示されません。
テナント情報	テナント情報 は市街地図表示のときテナント情報のある施設／ビルにカーソル(— —)を合わせた場合に表示され、その施設／ビルのテナントリストや各テナントの詳細情報を見ることができます。 ※ テナント情報 は地図が3D表示の場合は表示されません。
詳細情報	詳細情報 は詳細情報のある地図上のアイコンにカーソル(— —)を合わせた場合に表示され、そのアイコンの詳細情報を見ることができます。 ※ 詳細情報 は地図が3D表示の場合や詳細情報が無い場合は表示されません。

設定メニューについて

お知らせ

施設の詳細情報について

- 地図データに収録されていない場合は情報表示しません。
- 電話番号の情報がある場合、詳細情報画面に **電話する** が表示されます。タッチするとハンズフリーで電話の発信をします。(ハンズフリーで電話ができない状態のときは発信できません。)

テナント情報について

- **テナント情報** をタッチすると、テナントリストが表示されます。テナントリストから選んでタッチすると、選んだテナントの詳細情報を表示します。
- 地図データに収録されていない場合は情報表示しません。(テナントリストに1件も表示が無い場合があります。)

地図の向きを変える／地図を3D表示にする

1 地図画面の方位ボタンをタッチする。

方位ボタン

※タッチするたびに地図画面が切り換わります。

※方位ボタンで下記3種類の表示を切り換えることができます。

北方向が上	北方向が常に上に向くよう地図を表示します。
進行方向が上	車の進行方向が常に上に向くよう地図を表示します。 (走行に合わせて地図が回転します。)
3D表示	地図を3D表示します。 (3D表示では、進行方向が上を向きます。)



お知らせ

- 設定メニュー表示中や目的地検索中などでは、地図表示(方位)を切り換えられない場合があります。
- 地図の向きにあわせて方位ボタンの表示が変わります。

北方向が上: 

進行方向が上: 

3D表示について

- 3D表示のときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行われなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3D表示の角度調整をすることができます。[B-6]
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。

地図の縮尺を変える(拡大／縮小する)

※走行中は地図の拡大／縮小操作が制限されます。

1 地図画面の / をタッチする。



地図画面

地図の縮尺表示

※縮尺の背景色は市街地図表示のとき茶系色、市街地図でないとき灰色で表示されます。

お知らせ

-  /  をタッチし続けると地図をフリーズームさせることができます。お好みの縮尺になったら指を離してください。
-  /  をタッチすると縮尺バーが表示されます。

縮尺バー
(縮尺バーをタッチやドラッグしても拡大／縮小ができます。)



ピンチ／2回タッチ／2点タッチしても地図の拡大／縮小ができます

ピンチ

2本の指で地図画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。



つまむようにすると縮小、広げるようにすると拡大します。

2回タッチ

1本の指ですばやく2回画面をタッチします。



2回タッチすると拡大します。

2点タッチ

2本の指で画面を1回タッチします。



2点タッチすると縮小します。

QUICKメニュー

QUICKメニューを使うと、主な機能を少ないタッチ回数で動作させることができます。
また、QUICKメニューの項目は変更することができます。

QUICKメニューを使う

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** をタッチする。



→
QUICK を
タッチ

QUICKメニュー画面(例)



- 2 QUICKメニューから機能を選んでタッチする。

お知らせ

QUICKメニュー画面の **TUNE** をタッチすると、ルート探索／案内／地図表示の各設定を行うことができます。
それぞれの操作方法は、ルート探索の設定 [B-13]／表示・音声の案内設定 [B-19]／地図画面の表示設定 [B-5] をご覧ください。

QUICKメニューをカスタマイズする

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** → **設定** をタッチする。
- 2 “QUICKメニュー配置” から変更したいボタンを選んでタッチする。
※ **TUNE** ボタンは変更できません。

- 3 “メニュー候補” から新しく表示させたいメニューを選んでタッチする。

全ボタンのメニュー項目を
消します。

QUICKメニューの配置を
お買い上げ時に戻します。



手順 2 で選んだ
ボタンのメニュー
項目を消します。

メニュー項目の
候補

配置を設定できる QUICK メニューのメニュー候補は以下の通りです。

自宅	自宅を目的地にしてルート探索をする
登録地点	登録地点の中から目的地にする地点を選んでルート探索する
周辺施設	現在地周辺の施設を検索してルート探索する
地点を登録	現在地を地点登録する
登録・履歴消去	本機に登録・設定した内容を初期化する
右画面表示	右画面表示の設定をする
再探索	ルート案内中にルートを再探索する
案内スタート／ストップ	ルート案内を開始／停止する
ルート編集	ルート編集画面を表示する
全ルート表示	設定したルートの全体を表示する
ナビ案内音量	音声案内の音量設定画面を表示する
渋滞地点	ルート案内中、ルート上の渋滞／規制地点を表示する [B] D-5
VICS 文字情報	FM 多重放送で受信した VICS の文字情報を見る
VICS 図形情報	FM 多重放送で受信した VICS の図形情報を見る
ETC2.0 受信情報	ETC2.0 で受信した VICS 情報を見る
ETC 情報	本機に接続している ETC／ETC2.0 車載器の情報(利用履歴など)を見る
走行軌跡	走行軌跡の設定画面を表示する
ランドマーク表示／消去	ランドマークを表示するかしないかを設定する
ランドマーク	どの施設のランドマークを表示するか設定する [B] B-8
道路切換	画面の自車マークを近くの別の道路へ移動させて自車位置を修正する [B] B-9
リダイヤル	ハンズフリー電話で前回発信した番号に発信する
携帯電話登録一覧	携帯電話登録一覧画面を表示する
ミュート	オーディオ音声を消したり、消音を解除する
画面 OFF	画面の表示を消す
昼夜切換	画面の明るさの昼用⇔夜用を切り換える
オプション設定	オプションボタンの設定画面を表示する
NaviCon 友達マップ開始／終了	友達マップの表示を開始する／終了する
NaviCon 友達マップ全体表示	現在表示できる友達アイコンを全て表示する
ドライブレコーダー動画録画	ドライブレコーダーで動画の手動録画をする [B] H-8
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影する [B] H-8

右画面表示をする

※ あらかじめQUICKメニューに **右画面表示** を設定しておく必要があります。

1 現在地の地図画面で **QUICK** → **右画面表示** をタッチする。

2 右画面に表示したいものを選んでタッチする。

右画面表示をやめる

OFF をタッチする。

お知らせ

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードとは高速道路／一般有料道路走行中のみルート情報を右画面表示するモードです。

ハイウェイモード をタッチして表示灯の点灯⇄消灯を切り換えて設定してください。

(点灯：モードON、消灯：モードOFF)



地図



ルート情報



AV



※ オーディオ OFF のときは右画面 AV 表示しません。

時計



お知らせ

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- デモ走行中は右画面地図表示⇄全画面表示の切り換えはできません。
- 右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると、全画面に切り換わります。
(**現在地** を押すと右画面表示に戻ります)
- 右画面の地図はスクロールができません。
- ハイウェイモードにしている場合、他の表示項目を選んでいてもハイウェイモードが優先されます。
- ルート案内中で交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、上記で設定した右画面表示よりも交差点拡大図などを優先して表示します。
- ルート情報を表示している場合、**ハイウェイモード** はタッチできません。

C

目的地を探す

目的地メニューから目的地設定方法を選ぶ	C-2
名称で目的地を探す(施設50音)	C-3
住所で目的地を探す	C-4
目的地履歴の中から目的地を探す	C-5
登録地点で目的地を探す	C-5
周辺にある施設から目的地を探す	C-6
地図から目的地を探す	C-7
施設のジャンルから目的地を探す	C-8
郵便番号で目的地を探す	C-9
電話番号で目的地を探す	C-10
マップコードで目的地を探す	C-11
緯度・経度で目的地を探す	C-11
目的地メニューをカスタマイズする	C-12

目的地メニューから目的地設定方法を選ぶ

1

MENU を押す。

⇒目的地メニューが表示されます。

2

目的地設定方法を選んでタッチする。

ページ送り／戻しをします。
(◀/▶が表示されているときは、
左右にドラッグ／フリックしても
ページ送り／戻しができます。)

目的地メニュー



お知らせ

- 目的地設定の各方法の操作は、**図 C-3**～**図 C-11** をご覧ください。
- **自宅** の操作は **図 D-4** をご覧ください。
- **カスタマイズ** をタッチして目的地メニューのカスタマイズができます。**図 C-12**
- 走行中はドラッグ／フリック操作ができません。

名称で目的地を探す(施設50音)

1 目的地メニュー(☰ C-2)から **名称** をタッチする。

2 目的地の施設名をひらがなで入力し、 **検索** をタッチする。

お知らせ

- 濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。
- 入力した名称で検索したとき1万件以下に絞り込めない場合は **検索** をタッチできません。

3 リストから施設を選んで **決定** をタッチする。



選んだ施設の電話番号

(番号情報がある施設のみ表示します。ハンズフリーで電話が可能な状態の場合は **☎** をタッチすると発信できます)

選んだ施設の詳細情報を表示します。

選んだ施設の関連施設(駐車場など)や出入口のリストを表示します。

リストの並べ替えや、絞り込みをします

現在地から近い順に表示 50音順に表示

① **距離順** をタッチする。 ① **50音順** をタッチする。

地域やジャンルで絞り込む

① **絞り込み** をタッチする。

② ボタンをタッチし、絞り込み条件を設定する。

地域	都道府県名→市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル→施設の種類をタッチ

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 **ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、 **案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは ☰ D-2 をご覧ください。

住所で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **住所** をタッチする。

2 都道府県名、市区町村名、町名、番地などのリストを順に選んでタッチする。



例えば **な** をタッチすると、頭文字が“な” 行の都道府県の所までリスト送りができます。

住所の一部をひらがな入力して、リストから選ぶこともできます

- ① **地名部分入力** をタッチする。
- ② 住所の一部をひらがな入力し、**検索** をタッチする。
- ③ リストから選んでタッチする。

入力した地名が含まれるリスト



リストを都道府県で絞り込みます。(リストが全て同じ都道府県の場合は表示されません。)

絞込み をタッチして、都道府県を選んでください。

- ④ 町名、番地などのリストが順次表示されるので、選んでタッチしていく。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

目的地履歴の中から目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から履歴をタッチする。

⇒過去に設定した目的地のリストが表示されます。

※最新のものから順に100個まで履歴表示されます。

2 リストから目的地を選んでタッチし、決定をタッチする。



目的地履歴を削除するには

履歴の1つを削除する

- ① リストから削除したい履歴をタッチする。
- ② **削除** をタッチする。

履歴を全て削除する

- ① **全削除** をタッチする。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

登録地点で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から登録地点をタッチする。

2 リストから目的地を選んでタッチし、決定をタッチする。



リストの並べ替えや、絞り込みをします

- フォルダ** : フォルダを選ぶと、選んだフォルダにある登録地点のみを表示する。
- 登録順** : 登録した順に並べ替えて表示する。
- マーク順** : マークごとにまとめて表示する。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

周辺にある施設から目的地を探す

1 周辺施設を検索する場所を選ぶ。

※検索する場所によって、操作が変わります。

現在地周辺の施設を検索	①目的地メニュー(☰ C-2)から 周辺施設 をタッチする。 ② 現在地周辺 をタッチする。
ルート沿いにある施設を検索 ※ルート案内中のみ検索可能	①目的地メニュー(☰ C-2)から 周辺施設 をタッチする。 ② ルート沿い をタッチする。
目的地周辺の施設を検索 ※ルート案内中のみ検索可能	①目的地メニュー(☰ C-2)から 周辺施設 をタッチする。 ② 目的地周辺 をタッチする。
地図をスクロールして表示した場所周辺の施設を検索	①地図画面で地図をスクロールする。 ② 設定 → 周辺検索 をタッチする。

お知らせ

- 現在地周辺／目的地周辺／スクロールして表示した場所周辺を検索する場合は、それぞれの場所から半径 10 km 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は、現在地からルートの進行方向にそって 10 km 以内で、ルートの左右約 100 m 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。

2 検索する施設のジャンル／種類をリストから選んでタッチする。



ジャンル名／施設名を入力して
リストを絞り込むことができます

- ① **ジャンル名入力** をタッチする。
- ②ジャンル名／施設名をひらがな入力し、**検索** をタッチする。

▶マークのあるジャンルをタッチしたときは

- ①選んだジャンルのリストが表示されるので、リストから検索したい施設の種類の種類をタッチして✓印を付ける。

※ボタンをタッチするたびに✓印の有無が切り換わります。



- 全解除** : 表示中のリスト全ての✓印を消します。
- 全選択** : 表示中のリスト全てに✓印を付けます。

- ☒ : 検索します。
- ☐ : 検索しません。

- ② **検索** をタッチする。

3 リストから目的地に設定する施設を選んでタッチして、**決定** をタッチする。

選んだ施設の情報アイコン表示
(情報のある場合のみ表示)

選んだ施設がルート沿いの左右
どちらにあるか表示(ルート沿
い施設検索時のみ表示)



施設までの距離表示
(現在地周辺／ルート沿いで
検索時は現在地からの距離、
スクロールして表示した場
所周辺で検索時はスクロー
ルして表示した場所から
の距離、目的地周辺で検索
時は目的地からの距離を
表示)

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくはP D-2をご覧ください。

地図から目的地を探す

1 地図画面を表示させる。

※**現在地** を押すなどして地図画面を表示させてください。

2 地図をスクロールしてカーソル(—|—)を目的地に合わせ、**設定** をタッチする。



カーソル(—|—)

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくはP D-2をご覧ください。

施設のジャンルから目的地を探す

1 目的地メニュー(「目的地」C-2)から **ジャンル** をタッチする。

2 検索する施設のジャンルをリストから選んでタッチする。



▶マークのあるジャンルをタッチしたときは

選んだジャンルのリストが表示されるので、そのリストから選んでタッチしてください。

ジャンル名／施設名を入力してリストを絞り込むことができます

① **ジャンル名入力** をタッチする。

② ジャンル名／施設名をひらがな入力し、**検索** をタッチする。

3 検索条件を選んでタッチする。

現在地周辺にある施設を検索	現在地周辺 をタッチ
目的地周辺にある施設を検索	目的地周辺 をタッチ
ルート沿いにある施設を検索	ルート周辺 をタッチ
指定した都道府県にある施設を検索	① 都道府県 をタッチ ② 都道府県名を選んでタッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
指定した路線にある施設を検索	① 地域／路線 または 地域／路線選択 をタッチ ② 地域を選んでタッチ ③ 路線を選んでタッチ

お知らせ

- ルート案内をしていない場合は **目的地周辺** ／ **ルート周辺** は選べません。
- 現在地周辺を検索する場合は、現在地周辺から半径 10 km 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって 10 km 以内で、ルートの左右約 100 m 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地域／路線** は、**交通機関** → **高速・都市高速・有料道路施設** → **IC** ／ **SA** ／ **PA** をタッチしたとき表示され、IC ／ SA ／ PA のうち選んだものを路線で検索できます。
- **地域／路線選択** は、**交通情報** → **高速・都市高速・有料道路施設** をタッチしたとき表示され、IC ／ SA ／ PA をまとめて路線で検索できます。



4 リストから施設名を選び、**決定**をタッチする。

※施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選んでください。



手順 3 で都道府県または地域／路線での検索を選んでいる場合、次の操作が可能です

- **距離順** をタッチ：
リストを現在地から近い順に並べ替えます。
(距離順に並んでいるとき、表示灯が点灯)
- **ひらがな** をタッチ：
例えば **な** をタッチすると、リストを“な”から始まるリストの所までリスト送りできます。
※ **距離順** の表示灯が点灯中はタッチできません。

お知らせ

リストが距離順に並んでいる場合は、ひらがなをタッチしてリスト送りできません。

距離順 をタッチして表示灯を消灯させてから操作してください。

5 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは **図 D-2** をご覧ください。

郵便番号で目的地を探す

1 目的地メニュー(**図 C-2**)から **郵便番号** をタッチする。

2 郵便番号を入力し、**検索** をタッチする。

お知らせ

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。
- 4桁以上の入力が必要です。
- 入力途中で検索をタッチした場合、検索リストが表示される場合があります。その場合はリストから目的地を選んでタッチし、**決定** をタッチしてください。



3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは **図 D-2** をご覧ください。

電話番号で目的地を探す

1 目的地メニュー(☞ C-2)から **電話番号** をタッチする。

2 電話番号を入力し、**検索** をタッチする。

※電話番号は市外局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合

① リストが表示されるので、施設を選んでタッチする。

② **決定** をタッチする。

※さらにリストが表示される場合があります。①、②を繰り返してください。

個人宅の電話番号を入力した場合

文字入力画面が表示されるので、登録者名の名字をひらがなで入力し、**検索** をタッチする。

⇒入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

※登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。

※登録者名の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。

※個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合があります。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは☞ D-2をご覧ください。

マップコードで目的地を探す

1 目的地メニュー(「**目的地**」C-2)から **マップコード** をタッチする。

2 マップコードを入力し、**検索** をタッチする。



3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは「**目的地**」D-2をご覧ください。

お知らせ

マップコードについて

- 数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、目的地設定やルート探索はできません。

* について

- マップコード入力後、***** をタッチし2桁の数字を追加(入力)することにより、より高い位置精度で目的地を指定できます。

緯度・経度で目的地を探す

1 目的地メニュー(「**目的地**」C-2)から **緯度・経度** をタッチする。

2 緯度と経度を入力し、**検索** をタッチする。

※日本測地系の緯度・経度で入力してください。

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする。

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、**ここに行く** をタッチしてください。ルート探索が開始され、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。

※ルート探索の操作について詳しくは「**目的地**」D-2をご覧ください。

お知らせ

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、目的地設定やルート探索はできません。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

目的地メニューをカスタマイズする

※お好みにカスタマイズできるのは **MENU** を押して最初に表示されるメニュー画面のみです。

- 1 目的地メニュー(「**C-2**」)から **カスタマイズ** をタッチする。
※ **カスタマイズ** をタッチした後、メッセージが表示されますので、**OK** をタッチしてください。
- 2 ◀/▶ をタッチして、画面に表示されるボタンの数(3～8個)を変更する。
- 3 各ボタンをタッチして、ボタンを変更する。
- 4 **決定** をタッチする。



配置をお買い上げ時に戻します。
(ボタンの数は戻しません)

表示されるボタンの数(3～8個)を変更するには

◀/▶ をタッチする。

※左右に、ドラッグ/フリックしても変更できます。

ボタンの変更を行うには

①変更したいボタンをタッチする。

②目的地メニュー候補が表示されるので、新しく表示させたいボタンを選んでタッチする。

③ **戻る** をタッチする。

お知らせ

手順 **3** ですでに配置されているボタンをメニュー候補から選んだ場合、そのボタンはもとの位置から指定位置へ移動され、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。

例) **名称** を **電話番号** に変更する場合

電話番号 は
すでに配置
されています。



メニュー候補から
電話番号 を
タッチすると…



もとの **電話番号** は何も配置され
ていない状態になります。

D

ルート探索・案内

ルートを探索する	D-2
自宅を登録する	D-4
自宅までのルートを探索する	D-4
ルート案内をストップ／スタートする	D-5
ルート上の渋滞地点を確認する	D-5
経由地をスキップする	D-5
ルートを変更(ルート編集)する	D-6
現在のルートを表示する	D-7
現在のルートを保存する	D-8
現在のルートを削除する	D-8
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-8
迂回探索する	D-9
再探索をする	D-10
音声案内の音量を調整する	D-10
ルート探索の設定をする	D-11
表示・音声の案内設定をする	D-15

ルートを探索する

1 目的地メニュー(【 C-2)で目的地を探す。

2 設定メニューが表示されたら **ここに行く** をタッチする。

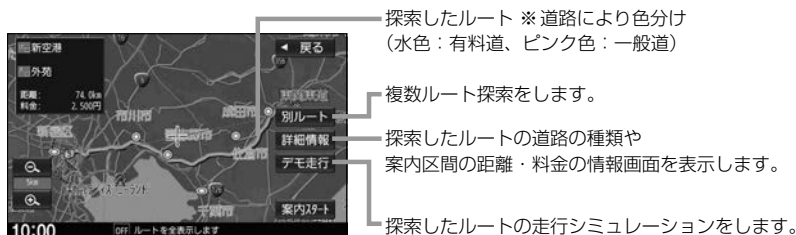


表示中の場所から位置調整したい場合

- ① **閉じる** をタッチして設定メニューを閉じる。
- ② 地図をスクロールして目的の場所にカーソルを合わせる。
- ③ **設定** をタッチして、再び設定メニューを表示させる。
- ④ **ここに行く** をタッチする。

お知らせ

- 手順 **2** で **ここに行く** をタッチ後、下記画面が表示された場合は、**案内スタート** をタッチするとルート案内が開始されます。



- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。
- 「ルート探索について」【 J-6 もお読みください。

複数ルート探索するには

探索条件別に最大5ルート探索します。

- ① 【 上記手順 **2** で、設定メニューの **5ルート** をタッチする。
- ② 探索条件をタッチしてルートを確認し、**案内スタート** をタッチする。

お知らせ

- 経由地を設定していると、複数ルート探索はできません。
- 複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。
- 探索条件については【 D-11

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「---円」と表示されます。)



ルートの詳細情報を表示

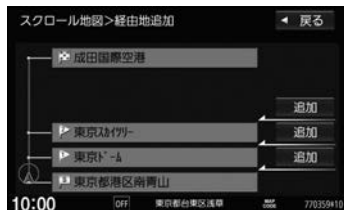
探索条件

経由地を設定するには

※最終目的地までのルート探索をしてから、経由地設定を始めてください。

- ① 目的地メニュー(☞ C-2)で経由地を探す。
- ② 設定メニュー(☞ D-2手順 2)で **立寄る** をタッチする。
- ③ 経由地を追加したいところの **追加** をタッチする。

※ルート編集画面(☞ D-6)でも経由地の設定が可能です。



デモ走行ができます

探索したルートの走行シミュレーションが
地図画面上でできます。
出発前に前もってルート確認するのに便利です。

- ① ルート探索後、**MENU** → **ルート** → **全ルート表示** →
デモ走行 をタッチする。

※デモ走行を終えるには **デモ走行中止** をタッチ、
または **MENU** を押してください。



お知らせ

- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なるものがあります。(QUICKメニューが操作不可、走行軌跡表示をしないなど)

自宅を登録する

ここでは自宅未登録のときに、新規登録する方法を説明しています。
すでに登録した自宅の場所を変更する場合は「**設定**」H-23

- 1 目的地メニュー(「**設定**」C-2)から **自宅** をタッチする。
- 2 自宅を探す方法を選んでタッチし、画面に従って操作していき、設定メニューが表示されたら **自宅登録** をタッチする。

(例)住所を入力して自宅を登録する場合

- ①目的地メニューから **自宅** をタッチする。
- ② **住所** をタッチする。
- ③都道府県名、市区町村名、町名、丁目などのリストが順次表示されるので、選んでタッチして住所を入力していく。



住所の一部をひらがな入力して、入力した地名が含まれるリストを表示します。

例えば **な** をタッチすると、左のリストを“な”から始まるリストの所までリスト送りできます。

- ④設定メニューが表示されたら **自宅登録** をタッチする。



設定メニュー

表示中の場所から位置調整したい場合

- ① **閉じる** をタッチして設定メニューを閉じる。
- ②地図をスクロールして目的の場所にカーソルを合わせる。
- ③ **設定** をタッチして、再度設定メニューを表示させる。

自宅までのルートを探る

現在地から自宅までのルート探索を行います。
※あらかじめ本機に自宅を登録しておく必要があります。

- 1 目的地メニュー(「**設定**」C-2)から **自宅** をタッチする。
- 2 **案内スタート** をタッチする。
⇒ルート案内が開始されます。

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合はルート案内を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再度開始させることができます。

1 **MENU** → **ルート** → **案内ストップ** または **案内スタート** をタッチする。

案内ストップ	ルート案内を停止し、地図画面を表示
案内スタート	前回ルート探索したルート案内を開始

お知らせ

- ルート設定していない場合は選べません。
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは **案内スタート** で再開できます。

ルート上の渋滞地点を確認する

※あらかじめ、FM多重放送の選局(「F」H-4)をしてVICS情報を受信しておく必要があります。

- 1** 現在地の地図画面で、
VICS ボタンをタッチする。
⇒ 渋滞／規制のVICS情報がある場合、
地図画面を渋滞／規制地点へ切り換えます。

VICS ボタン



お知らせ

- 渋滞地点は現在地から前方 10 km 以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- ルート案内を停止している場合、本機能は動作しません。

経由地をスキップする

ルート案内時、立ち寄る必要がなくなった経由地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

1 **MENU** → **ルート** → **経由地スキップ** をタッチする。

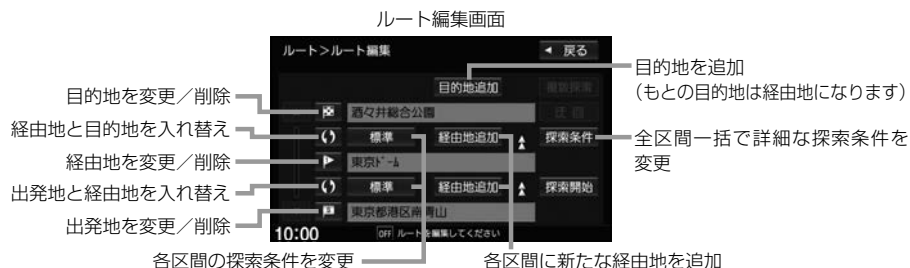
⇒ 次に立ち寄る経由地を通過済みにして再探索が開始されます。

※通過していない経由地が無い場合は **経由地スキップ** はタッチできません。

ルートを変更(ルート編集)する

1 **MENU** → **ルート** → **ルート編集** をタッチする。

2 編集したい項目を選んでタッチする。



出発地/経由地/目的地の場所を変更する

※探索条件を **internaviルート** にしてルート探索した場合は、出発地の変更はできません。

- ① 変更したい地点の **[S]** / **[P]** / **[D]** をタッチして、**変更** をタッチする。
- ② 場所を探索する方法を選んでタッチする。
- ③ 画面に従って操作していき*1、設定メニューが表示されたら、**出発地設定** / **立寄る** / **ここに行く** をタッチする。

経由地を追加する/目的地を追加する

※目的地を追加した場合、元の目的地は経由地になります。

- ① **経由地追加** / **目的地追加** をタッチする。
- ② 場所を探索する方法を選んでタッチする。
- ③ 画面に従って操作していき*1、設定メニューが表示されたら、**立寄る** / **ここに行く** をタッチする。

経由地追加画面(例)



経由地を削除する

※経由地を設定している場合は、出発地/目的地も削除できます。

- ① 削除したい地点の **[S]** / **[P]** / **[D]** をタッチして、**削除** をタッチする。
- ※出発地/目的地を削除した場合、前後の経由地が出発地/目的地に設定されます。

出発地/経由地/目的地を入れ替える

- ① 入れ替えたい地点間の **[↕]** ボタンをタッチする。

各区間の探索条件を変更する

- ① 探索条件を変更したい区間の探索条件ボタン(上記ルート編集画面例では **標準**)をタッチする。
- ② 探索条件を選んでタッチする。

* 1…場所を探す各方法の操作については、目的地設定の各説明を参考にしてください。(P C-3～C-11)
目的地付近 / **出発地付近** / **現在地付近** を選んだ場合は、それぞれ選んだ付近の地図が表示されますので、地図をスクロールして場所を探し **設定** をタッチしてください。

3

探索開始 / **複数探索** をタッチする。

探索開始	ルート探索が完了し 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大5ルートが表示されます。 好きなルートを選び、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※経由地を設定したときは、 複数探索 は選べません。

お知らせ

経由地の追加について

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

出発地／経由地／目的地の入れ替えについて

- すでに通過した地点の入れ替えはできません。

現在のルートを表示する

1

MENU → **ルート** → **全ルート表示** をタッチする。

- 「入口」：最初に乗るICの名称
「出口」：目的地から一番近いICの名称
「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離
「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金
※高速道路を使わない場合や、一般道や一部の有料道路で
料金不明の場合は「――円」と表示されます。



- 設定したルートの道路の種類や案内区間の距離・料金を確認
- 設定したルートの走行シミュレーションをします。
- ルート案内を開始

出発地 設定ルート 目的地

お知らせ

- 出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。
- 3D表示のときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

現在のルートを保存する

1 MENU → ルート → ルート保存 をタッチする。

お知らせ

- 現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。
残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 20個まで保存することができます。

現在のルートを削除する

1 MENU → ルート → ルート削除 をタッチする。

保存したルートの呼び出し／削除をする

1 MENU → ルート → 登録ルート をタッチする。

2 保存しているルートを読み出す／削除する。



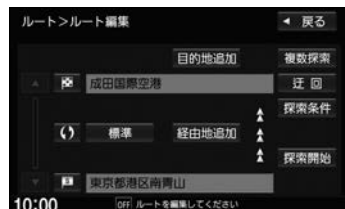
ルートを呼び出す	リストから呼び出したいルートを選んでタッチする。 ⇒保存したときの探索条件でルート探索が開始されます。 ※現在設定中のルートがある場合は削除して、選んだルートを呼び出します。
ルートを削除する	リストから削除したいルートの  をタッチする。

迂回探索する

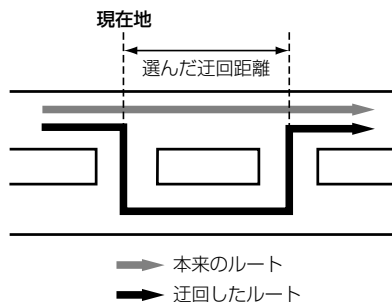
ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

※探索条件を「**internaviルート**」にしてルート探索した場合は、迂回探索できません。

1 **[MENU] → ルート → ルート編集 → 迂回** をタッチする。



2 迂回距離を選んでタッチする。



お知らせ

- 保存ルート呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に速回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探します。（すでに通過している経由地は除く。）

再探索をする

※あらかじめQUICKメニューに**再探索**を設定しておく必要があります。

1 現在地の地図画面で **QUICK** → **再探索** をタッチする。

2 探索条件を選んでタッチする。



お知らせ

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を設定している場合、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

音声案内の音量を調整する

1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **ナビ案内音量** をタッチする。

2 **－** / **＋** をタッチして調整する。

⇒調整した音量でテスト音声が出ます。

※ 音声案内が消音に設定されている場合は
音量調整できません。



タッチして消音⇄消音解除を切り換えられます。
(表示灯点灯：消音、消灯：消音解除)

ルート探索の設定をする

ルートをどのように探索するか設定します。本設定は、ナビ設定の探索設定画面、QUICKメニューのTUNE画面で行うことができます。(設定項目によって設定画面が異なります。)

ナビ設定の探索設定画面で探索設定をする

- 1 MENU → 設定／情報 → ナビ設定 → 探索 をタッチする。
- 2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

探索条件

標準	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先	走行距離が短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先	道幅が広いところを優先的に探索
internaviルート	インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索 (複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。)

- ※有料道路を優先しない探索条件を選んでも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- ※ **距離優先** を選ぶと、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- ※ **距離優先** で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- ※internaviルートを利用するには、インターナビ・リンク プレミアムクラブに登録する必要があります。
- ※ルート案内中に探索条件を変更し **戻る** をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。

自動再探索

ルート案内中に設定ルートから外れてしまった場合、自動でルート再探索を **する** / **しない** を設定できます。

フェリーを優先

する を選ぶと、ルート探索時にフェリー航路を選びやすくなります。

- ※出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- ※ **する** を選んでもフェリー航路を優先しない場合があります。
- ※フェリー航路は、旅客のみ、二輪車などの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間や運行状況などをご確認ください。

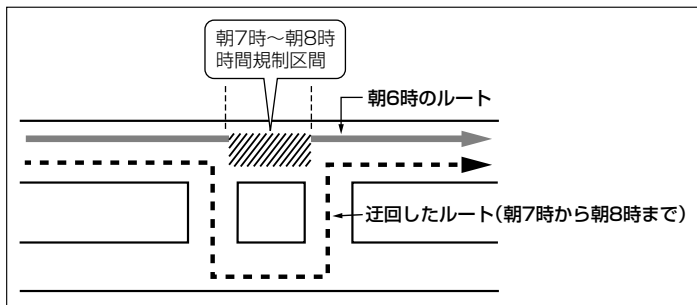
ルート探索の設定をする

ナビ設定の探索設定画面で探索設定をする

時間規制道路を考慮

時間ごとの道路規制を考慮してルート探索を **する** / **しない** を設定できます。

(例) 下記斜線部分に朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

- ※ 祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- ※ 実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

VICS 自動再探索

ルート案内中、先のルート上に通行止めなどの VICS 情報を受信したときに、自動で再探索を **する** / **しない** を設定できます。

※ FM 多重放送の VICS 情報のみ受信の場合は、規制による自動再探索は行いますが、渋滞による自動再探索は行いません。

到着予想

複数探索したときやルート案内時に表示される目的地までの到着時刻の予想方法を **自動** / **手動** から選んで設定します。



自動 : VICS 情報を利用して到着時刻を予想します。

手動 : あらかじめ設定した平均速度で各道路を走行するものとして到着時刻を予想します。

手動 を選んだ場合、各道路の **+** / **-** をタッチして平均走行速度を設定してください。

QUICKメニューのTUNE画面で探索設定をする

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** → **TUNE** をタッチする。
- 2 **ルート** をタッチし、各項目についてボタンをタッチして設定する。



有料道路優先

5段階で設定します。**高** に設定すると、ルート探索のとき、通る道に有料道路を選びやすくなります。

※探索条件で **標準** を選んで探索した場合のみ有効です。

道幅優先

5段階で設定します。**広** に設定すると、ルート探索のとき、通る道に車線数の多い道路を選びやすくなります。

※探索条件で **標準** を選んで探索した場合のみ有効です。

渋滞回避

5段階で設定します。**高** に設定すると、ルート探索のとき、渋滞の道路を避けやすくなります。

※探索条件で **標準** を選んで探索した場合のみ有効です。

※渋滞回避するには別売のETC2.0車載器またはインターナビによりVICS情報を受信する必要があります。

ルート探索の設定をする

QUICKメニューのTUNE画面で探索設定をする

ルート学習

ルート学習のしやすさと、学習結果をルート探索に利用するかどうかを設定します。

しない ルート学習をしない。また、学習結果をルート探索に利用しない。

する / **アクティブ** ルート学習をする。(**アクティブ** は **する** よりもルート学習しやすい)
また、学習結果をルート探索に利用する。

ルート学習について

ルート案内中、本機が案内したルートとは異なるルートを実際に走った場合、自動で再探索をします。
同じ道で自動再探索が何度か起きると、本機は実際に走った道を学習し、学習後のルート探索では、学習した道を選びやすくなります。

※探索条件で **internaviルート** を選んでいる場合、ルート学習は無効です。

※ **する** / **アクティブ** を選んでも、学習結果をルート探索に利用しない場合があります。
(ルート上に渋滞情報があった場合など)

※ルート学習のデータは次の場合に削除されます。

- ・ルート学習を初期化した場合 (EPA H-32)
- ・ルート学習のデータ容量を超えた場合 (学習時期の古いものから削除されます)
- ・地図更新を行ったとき

VICS 考慮

しない VICS 情報をルート探索に利用しない。

する VICS 情報を利用し、道路の規制・渋滞を考慮してルート探索する。

ETC2.0広域 ETC2.0 で受信した広域の VICS 情報を利用し、道路の規制・渋滞を考慮してルート探索する。

スマートIC考慮

スマートIC考慮 をタッチし、表示灯の点灯⇄消灯を切り換えて設定します。

点灯 スマートICの利用を考慮してルート探索する

消灯 スマートICを利用しないルートを探索する

※スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。

- ・ETCを搭載していない車両は通行できません。

※営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。

- ・営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。
- ・通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

季節規制考慮

季節規制考慮 をタッチし、表示灯の点灯⇄消灯を切り換えて設定します。

点灯 季節ごとの道路規制を考慮してルート探索する

消灯 季節規制を考慮しない

表示・音声の案内設定をする

表示・音声の案内に関する設定は、ナビ設定の案内設定画面、QUICKメニューのTUNE画面で行うことができます。(設定項目によって設定画面が異なります。)

また料金表示について、どの車種の料金で表示するか設定できます。

お知らせ

- 各案内(表示・音声)は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
 - ・ データが収録されていない場所／交差点では、各案内は行われません。
 - ・ データは地図ソフト作成時のものであるため、案内された内容が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。
- GPS衛星から電波が受信できなかったりGPSデータの誤差が大きいなどにより現在地が正しく測位ができない場合は、交差点拡大図などの各交差点表示が正常に行われません。
- 連続する交差点間の距離が短い場合は、交差点拡大図などの各交差点表示が行われない場合があります。

車種設定をする

本機の料金表示について、どの車種の料金で表示するか設定します。

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **システム設定** → **その他設定** → **車種設定** をタッチする。
- 2 **軽自動車** / **普通車両** / **中型車両** から選んでタッチする。

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

- 1 **MENU** → **設定／情報** → **ナビ設定** → **案内** をタッチする。
- 2 各項目の設定ボタン(**する** / **しない** など)を選んでタッチする。

ルートの全表示

する ルート探索終了後、ルート全表示にする

※ 探索条件が **internaviルート** の場合、ルート全表示されません。

しない ルート探索終了後、ルート全表示にしない

※ **しない** を選んでも、複数ルート探索した後はルート全表示されます。

交差点情報の表示

常時 ルート案内中でなくても、交差点に近づく则表示

案内中 ルート案内中のみ表示

しない 表示しない

※ ルート案内中、次の交差点まで10 km以上の場合は
“みちなり”と表示されます。

交差点までの目安距離



次の案内ポイントで進むべき
レーンを黄色の矢印で表示

お知らせ

ルート案内中、次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、
下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

次の案内ポイントまでのレーン情報



表示・音声の案内設定をする

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

ETCレーンの表示

する …… ルート案内中、料金所の手前でETCレーンを表示する

しない …… ETCレーンを表示しない

※ETCレーン表示は、ETC車載器未接続時でも表示されます。

表示を一時的に消します。
(再び表示するには **◀** をタッチ)



JCTビューの表示

する …… ルート案内中、高速道路や都市高速道路のJCT分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づいたとき、その付近の案内図を表示する

しない …… 上記の案内図を表示しない

表示を一時的に消します。
(再び表示するには **◀** をタッチ)



ルート情報の表示

する …… ルート案内中、常にルート情報を表示

しない …… “ハイウェイモードの表示” の設定に従ってルート情報を表示



タッチして表示灯を点灯させると、ルート情報の表示がサービスエリア／パーキングエリアのみになります。

※高速道路または有料道路を走行中でないとき、ルート情報にサービスエリア／パーキングエリアがないときは無効です。

経由地や各ポイントなどへの到着時間や距離

特徴や施設情報などの詳細情報を表示します。

※ **詳** は情報が収録されている所のみで表示

※走行中は詳細情報を表示できません。

VICS 情報(渋滞情報を線の色で表示)

ハイウェイモードの表示

する …… 高速道路／一般有料道路を走行中のみルート情報を表示

しない …… ルート情報を表示しない

※“ルート情報の表示” で **する** を選ぶと、本設定は変更できません。

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

交差点拡大図の表示

する ……ルート案内中、主要な交差点に近づいたときに交差点の拡大図を表示する

しない ……交差点の拡大図を表示しない

表示を一時的に消します。
(再び表示するには **◀** をタッチ)



リアル3D表示

する ……ルート案内中、交差点の手前で3D表示をする

しない ……交差点の3D表示をしない

表示を一時的に消します。
(再び表示するには **◀** をタッチ)



方面看板の表示

常時 ……交差点に近づくと表示

案内中 ……ルート案内中のみ表示

しない ……表示しない

表示を一時的に消します。
(再び表示するには **◀** をタッチ)



目的地方向を表示

する ……ルート案内中、現在地の地図画面に目的地の方向を示す赤い直線を表示する

しない ……目的地の方向を示す赤い直線を表示しない

Audio 画面中の案内割り込み

する ……オーディオ画面表示中に左折や右折などのルート案内情報がある場合、ルート案内画面へ切り換える

しない ……ルート案内画面へ切り換えない

※割り込み直前にキーを押したりボタン操作を行うと、画面が切り換わらない場合があります。

右画面 AV 中の案内割り込み

する ……右画面 AV 表示中に左折や右折などのルート案内情報がある場合、ルート案内画面へ切り換える

しない ……ルート案内画面へ切り換えない

EWS(緊急情報)の割り込み

する ……EWS(☎ E-13)受信時に、EWSへ自動切り換えをする

しない ……EWSへ自動切り換えをしない

表示・音声の案内設定をする

ナビ設定の案内設定画面で案内設定をする

案内出力スピーカー

音声案内を **左前** / **右前** どちらのスピーカーから出力するか設定できます。

専用レーン案内

- する** ……左折または右折の専用レーンがある場合に音声でお知らせを行う(ルート案内中のみ)
しない ……お知らせを行わない

高速走行時の音量切換

- する** ……走行速度が高速になると、音声案内の音量を自動で上げる
しない ……自動で音量を上げない

VICS案内

- する** ……渋滞／規制のVICS情報を受信すると、渋滞／規制情報を音声案内する
しない ……渋滞／規制情報を音声案内しない

トンネル出口案内

- する** ……トンネル出口の音声案内をする
しない ……トンネル出口の音声案内をしない

QUICK メニューのTUNE 画面で案内設定をする

- 1 現在地の地図画面で **QUICK** → **TUNE** をタッチする。
- 2 **ガイダンス** をタッチし、各項目についてボタンをタッチして設定する。



分岐案内頻度

低 / **中** / **高** をタッチして設定します。低く設定するほど、案内ポイントに近づいたとき、そのポイントについて案内する回数を少なくできます。

(例) 高速道路のジャンクションに近づくと、**高** だと3 回案内しますが、**低** だと1 回のみ案内します。

※本設定が有効となる案内ポイントは、目的地・踏切・有料道路の出入口およびジャンクション・料金所・フェリー乗り場・一般道の右左折のみです。

合流案内

常時 …… 高速道路で合流地点が近くなると、音声案内をする

案内中 …… ルート案内中のみ、高速道路で合流地点が近くなると、音声案内をする

しない …… 音声案内をしない

踏切案内

常時 …… 踏切が近くなると、音声案内をする

案内中 …… ルート案内中のみ、踏切が近くなると、音声案内をする

しない …… 音声案内をしない

E

オーディオ

AUDIOメニューから再生(視聴)する		
ソースを選ぶ	E-2	
オーディオをON／OFFする	E-3	
オーディオの音量を調整する	E-3	
オーディオ画面／全画面時計表示に切り換える	E-3	
ディスクを挿入する／取り出す	E-4	
CDを聞く	E-4	
CD再生画面のタイトル情報について	E-6	
DVDを見る	E-7	
DVDの設定をする	E-10	
再生言語の設定	E-10	
ダイナミックレンジ圧縮の設定	E-12	
視聴制限レベルの設定	E-12	
TVを見る	E-13	
TVの設定をする	E-18	
ラジオで交通情報を聞く	E-19	
FM／AMを聞く	E-20	
iPodのミュージックを聞く	E-22	
iPodのビデオを見る	E-24	
iPodの接続	E-25	
Music Rackの音楽を聞く	E-26	
BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て	E-28	
BLUETOOTH Audio 機器を再生するための準備	E-28	
登録した機器の一覧を見る	E-29	
本機のBLUETOOTH情報を確認する	E-29	
BLUETOOTH Audioを聞く	E-30	
SDカードを挿入する／取り出す	E-32	
WALKMAN [®] ／USBメモリーを本機に接続する	E-33	
SDカード／WALKMAN [®] ／USBメモリーの音楽を聞く	E-33	
SDカード／WALKMAN [®] ／USBメモリーの画像を見る	E-36	
SDカード／WALKMAN [®] ／USBメモリーの動画を見る	E-37	
外部機器の映像／音声を視聴する	E-38	
外部機器の接続について	E-38	
外部機器の映像を見る／音声を聞く	E-39	
オーディオ設定をする	E-40	
AUDIOメニューをカスタマイズする	E-44	

AUDIO メニューから再生(視聴)するソースを選ぶ

1 AUDIO を押す。

⇒AUDIO メニューが表示されます。

※再生中のオーディオ画面に切り換わる場合があります。この場合は、再度 **AUDIO** を押してください。

2 再生(視聴)するソースを選んでタッチする。

ページ送り／戻しをします。

(◀/▶が表示されているときは、
左右にドラッグ／フリックしても
ページ送り／戻しができます。)

AUDIO メニュー



お知らせ

- **カスタマイズ** をタッチして AUDIO メニューのカスタマイズができます。[E-44]
- 走行中はドラッグ／フリック操作ができません。

オーディオをON / OFFする

1 を押す。

⇒オーディオのON / OFFが切り換わります。

お知らせ

- CD録音中の場合、CDソースをOFFにしても録音は継続されます。
- BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、オーディオをOFF / 本機の電源を切っても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、機器側で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

オーディオの音量を調整する

1 オーディオ再生中に / を押す。

音量表示
(音量調整中に表示)

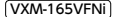
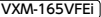


お知らせ

- オーディオOFFのときは音量調整できません。
- DVD / BLUETOOTH Audio / VTR / リアモニタHDMI / HDMI*¹ソースは個別に音量調整されます。

消音(ミュート)するには

 (オプションボタン)にミュート機能を設定( H-28)している場合は、  を押すと音を消すことができます。消音(ミュート)を解除するには再度  を押してください。

* 1...  

オーディオ画面 / 全画面時計表示に切り換える

地図画面をオーディオ画面に切り換える

1 を押す。

※オーディオOFFの場合はAUDIOメニューが表示されます。

オーディオ画面を全画面時計表示に切り換える

1 オーディオ各ソースの再生画面で をタッチする。

※画像 / 映像を再生するソース、TV、HDMI、VTRソースの場合は切り換えることができません。

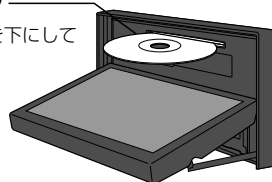
※オーディオ再生画面に戻すには、画面をタッチし(⇒  ボタンが表示)、  をタッチしてください。

ディスクを挿入する／取り出す

ディスクを挿入する

- 1  → **OPEN** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 ディスク挿入口にディスクを挿入する。
※ 挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。

ディスク
記録面を下にして
入れる。



ディスクを取り出す

- 1  → **DISC EJECT** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 2 ディスクを取り出す。
- 3  を押して、ディスプレイを閉じる。

 を押すと表示される画面



DISC-IN*¹ : ディスク挿入済
NO-DISC*¹ : ディスク未挿入

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気をつけください。
- ディスク挿入時に  を長押しすると、自動でディスクが排出されます。
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

* 1…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合のみ表示されます。

CDを聞く

1 ディスクを挿入する。 上記

▶ : 通常再生
▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し

再生時間

タイトル情報



各種マーク

- ・ イコライザー設定マーク
- ・ サラウンド設定マーク
- ・ 再生モードマーク
- ・ 再生ファイルマーク
(MP3/WMA再生時のみ)

お知らせ

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。(自動録音/手動録音は変更できます。  F-4)
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから **CD** をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

CDを聞く

選曲する

1 曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

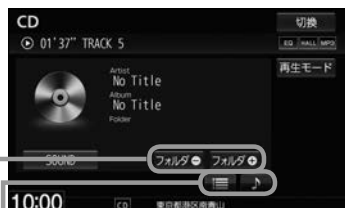
- ①  をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

MP3 / WMA ファイルを再生中の場合、
再生しているフォルダ内のトラック
リストが表示されます。

前の / 次のフォルダを
再生する*¹

フォルダ◀ / フォルダ▶ をタッチ
する。



 : トラックリスト表示にします。

 : タイトル情報表示にします。

フォルダ◀ : 前のフォルダに戻します。*¹

フォルダ▶ : 次のフォルダに進みます。*¹

早戻し / 早送りする

- 1 ◀◀ / ▶▶ を押し続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※ ◀◀ / ▶▶ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*²

リピート / ランダム / スキャン再生する

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート** / **ランダム** / **スキャン** を選んで
タッチする。

※ **リピート** はタッチするたびに、リピートトラック /
リピートフォルダ*¹ / リピート解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
リピートフォルダ* ¹	選曲中のフォルダ内で繰り返し再生
ランダム	音楽CD再生時 : ディスク内の曲をランダム再生 MP3 / WMA再生時 : 選曲中のフォルダ内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約 10 秒を再生し、次の曲に移る

* 1…MP3 / WMA再生時のみ有効です。

* 2…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

CDを聞く

CD再生画面のタイトル情報について

本機は挿入された音楽CDのタイトル情報(トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル分類)をCD再生画面に表示することができます。

本機はGracenoteデータベースを持っています。音楽CDが挿入されたとき、本機データベースとの照合を行い、ヒットすればCD再生画面にトラック名などのタイトル情報を表示します。



タイトル情報 オンライン検索します。

お知らせ

- 全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
- 音楽CDにCD-TEXT 情報がある場合、タイトル情報はCD-TEXT 情報で表示されます。(ジャンルは空欄となります。)
※市販されているほとんどの音楽CD にはCD-TEXT 情報は入っていません。
- 音楽CDにCD-TEXT 情報がなく本機データベースにもヒットしなければ、アーティスト名／アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(録音曲選択画面では“トラックXX”、XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。

タイトル情報が適切に表示されていない場合は、挿入したCDが新譜などのため本機データベースに情報が無い、または間違ったタイトル情報を取得してしまった可能性があります。

オンライン検索(☞下記)、またはパソコンを利用したデータベース更新(☞F-9)を行ってください。

オンライン検索をする

インターネット・データ通信USBを使用して、オンラインでGracenote 音楽認識サービスより新タイトル情報を取得できます。

1 CD再生画面で **オンライン検索** をタッチする。

インターネット・データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功すると現在挿入中の音楽CDのタイトル情報を取得します。

※タイトル情報を取得すると、CD再生画面および本機データベースのタイトル情報を更新します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に **中止** をタッチしてください。(タイトル情報更新中に **中止** は選べません。)

お知らせ

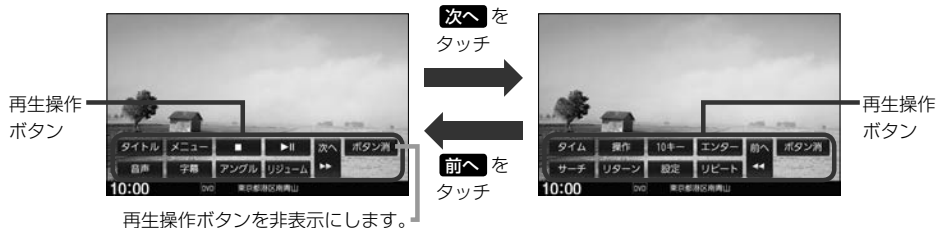
- 本操作によるオンライン検索はすでに録音した曲のタイトル情報の取得／更新はできません。すでに録音した曲のオンライン検索をするには☞F-10
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
 - ・ 接続しているインターネット・データ通信USB の圏外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 発売後間もない新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報の検索結果が複数ある場合は、どのタイトル情報に更新するか選んでください。

DVDを見る

- 1 ディスクを挿入し(☞ E-4)、AUDIOメニュー(☞ E-2)から **DVD** をタッチする。
⇒再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。

再生操作ボタン

DVD再生中に **MENU** を押すと再生操作ボタンが表示されます。



お知らせ

ディスクによって、特定の操作を禁止している場合があります。この場合、再生操作ボタンをタッチしても実行できません。

早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** を押し続ける。
※指を離すと通常再生に戻ります。
※ **⏮** / **⏭** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

停止する

- 1 再生操作ボタンの **■** をタッチする。

※再生中に **■** をタッチして停止した場合、再生を止めた位置をメモリーしているの、続きから再生できます。(ディスクによってはメモリーしません。)

DVD 設定画面を表示します。

※DVD 設定を行った場合、続き再生が解除される場合があります。

停止画面



続き再生を解除します。 再生します。

一時停止する／再生する

- 1 再生操作ボタンの **▶II** をタッチする。
※一時停止中に **▶II** をタッチすると再生に戻ります。

スロー戻し／スロー送りする

- 1 一時停止中に **⏮** / **⏭** を押し続ける。
※指を離すと通常再生に戻ります。
※ **⏮** / **⏭** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1
※VRモードではスロー戻しができません。

* 1…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

DVDを見る

チャプター戻し／チャプター送りする

- 1  /  を押す。

画面表示を切り換える

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **タイム** をタッチする。

※タッチするたびに画面表示が切り換わります。

下記3通りの画面表示から選んでください。

- タイトル番号・チャプター番号を表示
- 再生時間を表示
- 画面表示しない

画面表示(再生時間表示の例)



好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **サーチ** をタッチする。

- 2 **切換** をタッチして、画面表示を切り換える。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)が切り換わります。

タイトル番号を入力	"TITLE: __/XX" を画面表示させる。
チャプター番号を入力	"CHAPTER: __/XX" を画面表示させる。

- 3 **0** ～ **9** をタッチして、タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※画面表示が表示されている間に入力してください。

画面表示はしばらくすると消えます。消えた場合は再度操作をやり直してください。

- 4 **実行** をタッチする。

お知らせ

ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力した場合は実行できません。

リピート再生する

- 1 再生操作ボタン( E-7)の **リピート** をタッチする。

※タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)とともにリピート設定が切り換わります。

再生中のチャプターを繰り返し再生する	"CHAPTER REPEAT" を画面表示させる。
再生中のタイトルを繰り返し再生する	"TITLE REPEAT" を画面表示させる。
繰り返し再生しない	"REPEAT OFF" を画面表示させる。

お知らせ

- ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し／早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。
- ディスクによっては、リピート設定してもリピート再生しない場合があります。

音声言語／字幕言語／アングルを切り換える

1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **音声**／**字幕**／**アングル** をタッチする。

※タッチするたびに音声言語／字幕言語／アングルが切り換わります。

お知らせ

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り換えてください。
- ディスクによっては、再生操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り換えができないものがあります。その場合は、DVDメニューやDVD設定の言語設定で切り換えてください。

タイトルメニュー／DVDメニューを表示する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **タイトル**／**メニュー** をタッチする。

タイトル : タイトルメニューを表示

メニュー : DVDメニューを表示

タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

1 タイトルメニュー／DVDメニューでメニュー項目をタッチする。

※再生操作ボタンが表示されている場合は、**ボタン消** をタッチして再生操作ボタンを消してください。

※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。その場合は、画面にカーソル操作ボタンを表示させて操作してください。

再生操作ボタンとカーソル操作ボタン

DVD再生中に **MENU** を押すと再生操作ボタンが表示されます。

選択している項目を実行します。



メニューに切り換える前の再生画面に戻します。

再生操作ボタンを切り換えます。



操作 をタッチ

1つ前の画面に戻します。

再生操作ボタンを切り換えます。



カーソル操作ボタン

▲/▼/◀/▶ : 項目を選びます。

実行 : 選んだ項目を実行します。

ボタン表示を画面の左右に移動します。

DVDを見る

タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

- 1 再生操作ボタン(□ E-7)の **タイトル**／**メニュー** をタッチする。

タイトル：タイトルリストを表示 **メニュー**：プレイリストを表示

※VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。

- 2 リストから再生したいものを選んでタッチする。

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示します。

タイトルリスト表示(例)



タイトルリスト／プレイリストを切り換えます。

DVDの設定をする

※DVD設定をすると、設定内容によっては続き再生が解除される場合があります。

再生言語の設定

- 1 再生操作ボタン(□ E-7)の **設定** → **言語設定** をタッチする。

- 2 音声言語／字幕言語／メニュー言語それぞれについて、言語を選んで設定する。

言語コードを入力して
再生言語を指定する

言語表示のボタンをタッチし、
言語コード(□ E-11)を入力して **決定** をタッチする。
⇒設定後、ボタンが設定言語名で表示

ディスクで優先されて
いる言語で再生する

オリジナル をタッチする。

字幕を表示しない

OFF をタッチする。



言語表示
(言語コードで設定する場合にタッチ)
※言語コードによる設定がされていない場合、
“言語を選択”と表示します。
初期値
各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

- 言語コード入力するとき、入力した数字を削除するには **クリア** をタッチして数字を再度入力してください。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

DVDの設定をする

言語コード表

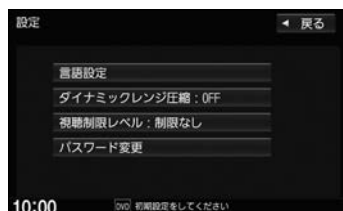
コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アブバシア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ベラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスラム語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラピュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

DVDの設定をする

ダイナミックレンジ圧縮の設定

本設定をONにすると、ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に、最小音と最大音の音量差を縮めて再生します。小さい音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **ダイナミックレンジ圧縮** をタッチする。



- 2 **ON** / **OFF** を選んでタッチする。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **視聴制限レベル** をタッチする。
- 2 設定したい視聴制限レベル(**レベル1** ~ **レベル8** / **制限なし**)を選んでタッチする。
- 3 視聴制限のパスワードを入力し、**決定** をタッチする。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
※パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

視聴制限のパスワードを変更する

- 1 再生操作ボタン(⏮ E-7)の **設定** → **パスワード変更** をタッチする。
- 2 “現在のパスワード” / “新しいパスワード” / “パスワード再入力” をそれぞれ入力し、**決定** をタッチする。

お知らせ

- パスワード入力するとき、入力した数字を削除するには **クリア** をタッチして数字を再度入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。

TVを見る

1 AUDIOメニュー(Ⓔ E-2)からTVをタッチする。

TVの初期設定を行う

TVを見るには初期設定が必要です。初期設定していない場合は初期設定画面が表示されます。

1 初期設定 をタッチする。

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 をタッチする。

3 お住まいの都道府県を選んでタッチする。

※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。

- ・伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 東京都島部 をタッチ
- ・南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 鹿児島県島部 をタッチ

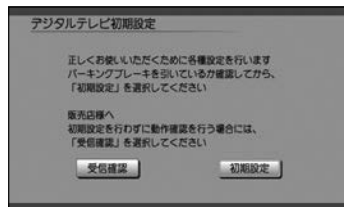
4 次へ をタッチする。

5 表示された地域を確認して、決定 をタッチする。

6 各チャンネル番号の放送局名を確認して、決定 をタッチする。

※各チャンネルに設定されている放送局を変更するには、▲／▼をタッチして、修正したいチャンネルにカーソルを合わせ、◀／▶をタッチして放送局を選んでください。

7 終了 をタッチする。



お知らせ

引っ越しなどで受信地域が変更になった場合は、初期設定項目の変更を行ってください。
郵便番号設定／県域設定／ホームチャンネル設定 Ⓔ E-18

緊急警報放送について

緊急警報放送(EWS : Emergency Warning System)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送(EWS)を受信したら、自動的に緊急警報放送に切り換わります

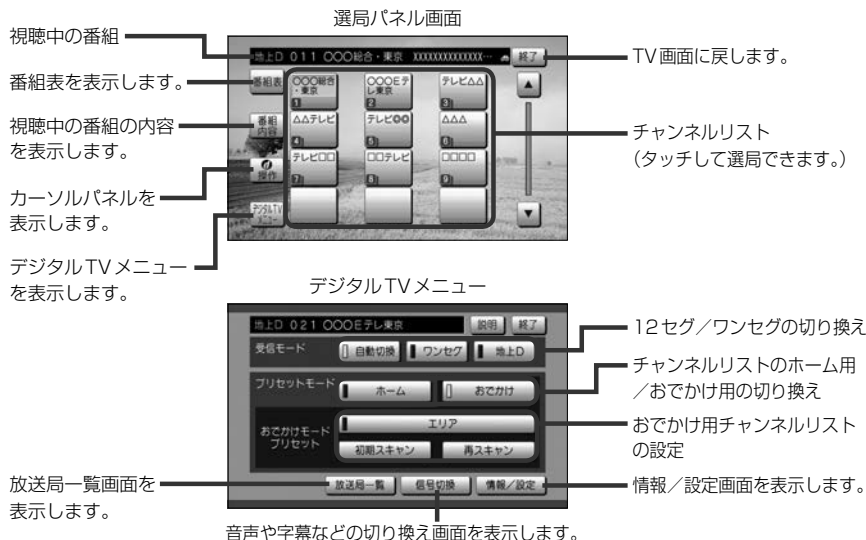
- ・緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- ・視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- ・走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- ・TVソース以外のソースを選んでいても緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り換わることがあります。

TVを見る

選局パネルとデジタルTVメニュー

TV視聴中に画面をタッチすると選局パネルが表示されます。

選局パネルで **デジタルTVメニュー** をタッチするとデジタルTVメニューが表示されます。



ホームモード/おでかけモードを切り換える

1 デジタルTVメニュー(☞上記)で、**ホーム** / **おでかけ** を選んでタッチする。

お知らせ

本機のチャンネルリストには、ホーム用とおでかけ用の2つがあり、**ホーム** / **おでかけ** をタッチすることでチャンネルリストが切り換わります。おでかけ用リストは次の特徴があります。

- ・車が移動すると現在地に合わせて自動的にチャンネルリスト変更が行われます。
- ・おでかけ用チャンネルリストでは、ホーム用チャンネルリストの放送局と同じ系列局は、同じチャンネル番号に設定されます。(例えば、移動先でホーム用の1chの系列局が見つかった場合、本来のチャンネル番号に関わらず、1chに設定されます)

おでかけモードのチャンネル設定をする

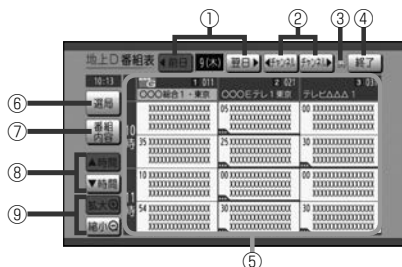
1 デジタルTVメニュー(☞上記)で、

エリア / **初期スキャン** / **再スキャン** を選んでタッチする。

エリア	車が移動したとき、おでかけ用チャンネルリストを自動的に変更するかを設定します。(表示灯点灯：自動変更、消灯：自動変更しない)
初期スキャン	現在地で受信できる放送局をスキャンし、リストを上書きします。
再スキャン	スキャンをして、新たに受信できる放送局が見つかった場合、リストに追加します。(リストの削除・上書きは行いません。)

番組表を見る

1 選局パネル(図 E-14)の **番組表** をタッチする。



- ① 前日・翌日に切り換え(過去の日は表示できません。)
- ② チャンネルの変更
- ③ ホームモード／おでかけモードマーク
- ④ 番組表画面を消す
- ⑤ 番組表(タッチすると選んだ番組の番組内容を表示)
- ⑥ 選局パネルを表示する
- ⑦ 視聴中の番組の内容を表示する
- ⑧ 時間帯の変更(過去の番組は表示できません。)
- ⑨ 番組表の拡大／縮小

お知らせ

- 番組表表示形式の設定(図 E-18)をすると、1つの放送局(チャンネル)に複数の番組がある場合に、1番組のみ表示するか、全番組を表示するかを選択できます。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

視聴予約をする

1 番組表から視聴予約したい番組を選んでタッチする。

⇒ 番組内容画面が表示されます。

2 **視聴予約** をタッチする。

番組内容画面



番組属性の表示に切り換えます。
番組内容の表示に切り換えます。

すでに放送が始まっている番組を選んだ場合は **今すぐ見る** が表示されます。(**今すぐ見る** をタッチすると、TV画面に切り換わります。)

お知らせ

- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に別のチャンネルの予約番組が始まると、予約番組に切り換わります。
- 他のソース使用中に予約番組が始まると、自動でTVソース(予約番組)に切り換わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約番組に切り換わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約番組が終了しても、予約番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- 自動受信以外の受信モード(ワンセグ/地上D)で予約した場合、異なる受信モードの視聴予約は実行できません。
(例：ワンセグ番組を視聴予約していて、予約開始時間に地上Dモードにしていた)
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

TVを見る

選局する

チャンネルを1つずつ進めたり戻したりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

チャンネルリストから選局する 選局パネル(図 E-14)のチャンネルリストから選んでタッチする。

地上デジタル(12セグ)/ワンセグを切り換える

1 デジタルTVメニュー(図 E-14)で、

“受信モード” の **自動切換** / **ワンセグ** / **地上D** をタッチする。

自動切換	電波の受信状況により、12セグ/ワンセグを自動で切り換え
ワンセグ	ワンセグを受信
地上D	12セグを受信

信号切り換えを行う

1 デジタルTVメニュー(図 E-14)で、 **信号切換** をタッチする。

2 各項目を設定する。

マルチビュー	視聴中のチャンネルで主番組と副番組が放送されている場合、◀ / ▶ で切り換え
映像	視聴中の番組に複数の映像がある場合、◀ / ▶ で切り換え
音声	視聴中の番組に複数の音声がある場合、◀ / ▶ で切り換え
二重音声	音声多重放送の場合、◀ / ▶ で切り換え
字幕	字幕の言語をタッチして選択(表示しない : 字幕を表示しない)
文字スーパー	文字スーパーの言語をタッチして選択(表示しない : 文字スーパーを表示しない)

視聴予約を確認する/削除する

1 デジタルTVメニュー(図 E-14)の

情報/設定 ➡ **視聴予約** をタッチする。

視聴予約を削除する

① 視聴予約リストから削除したい番組を選んでタッチして✓印を付ける。

② **取消** をタッチする。



視聴予約リスト

- ☒ : 視聴予約リストから削除します。
☐ : 視聴予約リストから削除しません。

カーソルパネルを表示する(データ放送を見る)

1 選局パネル(図 E-14)の **d操作** をタッチする。

⇒カーソルパネルが表示されます。

カーソルパネル



操作 を
タッチ

数字 を
タッチ

数字パネル

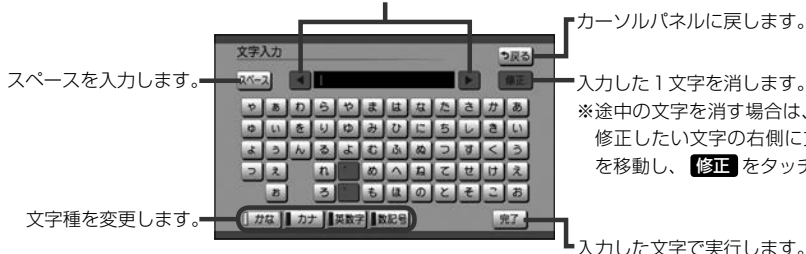


- ① 色ボタン
- ② データ放送を表示
(データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻る)
- ③ データ放送画面内の項目を選択/実行
- ④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
- ⑤ カーソルパネル/数字パネル表示位置の変更
(画面左/右)
- ⑥ 数字パネルに切り換え
- ⑦ カーソルパネル/数字パネルを消す
- ⑧ 数字ボタン
- ⑨ 入力した数字を決定/実行
- ⑩ カーソルパネルに切り換え

お知らせ

- 文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。

文字カーソルを移動します。



- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

TVの設定をする

1 デジタルTVメニュー(□ E-14)の **情報／設定** → **システム設定** をタッチする。

2 設定項目を選んでタッチし、
設定ボタンをタッチして設定する。



オート放送局サーチ	する …受信状態が悪くなった場合、自動で受信状態の良い中継局／系列局に切り換えます。 ※必ず切り換えができるわけではありません。 しない …中継局／系列局に自動で切り換えません。
地上D選局対象 ※本設定は地上デジタル(12セグ)放送でのみ有効です。	テレビ …テレビサービスのみ選局します。 ※番組表の表示もテレビサービスのみになります。 テレビ／データ …テレビサービスと独立データサービスを選局します。
郵便番号	郵便番号を入力し、決定 をタッチする。 (引越など郵便番号が変わった場合に設定してください。)
県域	地域を選んでタッチした後、都道府県を選んでタッチする。 ※伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 東京都島部 をタッチ ※南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合： 沖縄・その他の島部 → 鹿児島県島部 をタッチ (引越などで県域が変わった場合に設定してください。)
番組表表示形式	第一内容のみ表示 …番組表表示するとき、各放送局の第一サービスのみ表示します。 ※第一サービス以外のサービスを視聴中の場合は、第一サービスとそのサービスの2つを表示します。 全内容を表示 …番組表表示するとき、各放送局の全サービスを表示します。
ホームチャンネル ホームモードのチャンネル設定を行います。 ※あらかじめホームモードに切り換えが必要です。	初期スキャン …現在受信できる放送局を検索し、チャンネルリストを上書きします。 再スキャン …スキャンして、新たに受信できる放送局が見つかった場合、チャンネルリストに追加します。(リストの削除・上書きは行いません。) マニュアル …設定したチャンネルを修正します。

TVのデバイスID／ソフト情報を表示するには

- ① デジタルTVメニュー(□ E-14)の **情報／設定** をタッチする。
- ② **デバイスID表示** ／ **ソフト情報表示** から選んでタッチする。

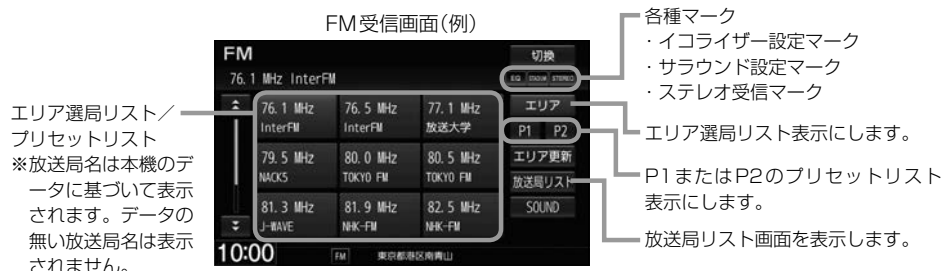
ラジオで交通情報を聞く

1 AUDIOメニュー( E-2)から **交通情報** をタッチする。

2 周波数(**1620kHz** / **1629kHz**)を選んでタッチする。

FM / AMを聞く

1 AUDIOメニュー(E-2)から FM / AM をタッチする。



選局する

エリア選局する	エリア選局リストから選局する方法です。エリア選局リストには、本機の放送局データをもとにして現在地周辺の放送局が表示されます。 ① エリア をタッチする。 ⇒エリア選局リスト表示になります。 ②エリア選局リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。 お知らせ ●選んだ放送局が必ず受信できるわけではありません。 ●同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、エリア選局リストに重複した放送局が表示されることがあります。
手動選局する	周波数を手動で変更して選局する方法です。 ◀▶ / ▶▶ を押して、周波数を変える。 ※押すたびに、FMは0.1 MHz ずつ、AMは9 kHz ずつ変わります。 ※ ◀▶ / ▶▶ を押し続けると、その間周波数が変わり続けます。 お好みの周波数で指を離してください。 (一定時間以上押し続けていると、指を離さなくても止まります。)
自動選局する	周波数を自動で変更してサーチし、受信可能な放送局を探す方法です。 ※受信電波の弱い所では、自動選局ができないことがあります。 ◀▶ / ▶▶ を長押しし、“ピッ”と鳴ったらすぐ指を離す。 ⇒周波数送りとサーチが始まり、受信可能な放送局の周波数になると自動で止まります。
放送局リストで選局する	本機が自動サーチして、受信可能な放送局をリスト表示します。 そのリストから選ぶ方法です。 ① 放送局リスト をタッチする。 ⇒リスト画面になります。 ②リストから聞きたい放送局を選んでタッチする。

選局する

プリセット選局する

お好みの放送局をあらかじめ本機に登録(📄 下記)しておき、登録した放送局のリスト(プリセットリスト)から選ぶ方法です。

① **P1** / **P2** から選んでタッチする。

⇒放送局リストがP1 またはP2のプリセットリストに変わります。

② プリセットリストから聞きたい放送局を選んでタッチする。

プリセットリストに放送局を登録する

P1 / P2それぞれ6局まで登録できます。

1 登録したい放送局を選局する。

2 プリセットリスト(**P1** / **P2**)を選んでタッチする。

3 プリセットリストから登録先のボタンを選んでタッチし続ける。

⇒タッチし続けたボタンの表示が現在選局中の放送局表示に変わります。

エリア選局リスト／放送局リストの更新について

FM／AMを聞いている間は、別のエリアへ移動してもエリア選局リスト／放送局リストを自動更新しません。このため、長距離移動したときなどは下記方法により手動でリストを更新してください。

エリア選局リストを更新する

受信画面で **エリア更新** をタッチする。

放送局リストを更新する

受信画面で **放送局リスト** → **リスト更新** をタッチする。

⇒サーチが開始され、完了すると放送局リストが更新されます。

※ **リスト更新** をタッチすると、エリア選局リストの放送局名も更新されます。

※サーチした結果、受信可能な放送局が見つからなかった場合はもとのリストのままになります。

お知らせ

本機は従来のFM、AMのほか、ワイドFMにも対応しています。ワイドFMとは、FM放送用に新たに割り当てられた90 MHz 超の周波数を用いて、AM番組を聞くことができる放送です。

iPodのミュージックを聞く

※あらかじめiPodを接続しておく必要があります。[E-25]

1 AUDIOメニュー([E-2])からiPodをタッチする。

※ビデオが再生された場合、画面を2回タッチすると**ミュージック**が表示されます。

ミュージックをタッチするとミュージック再生に切り換わります。



選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

トラックリストから曲を選ぶ

- ① [E-2] をタッチして、トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって変わります。

選曲モードから選曲します。



[E-2] : トラックリスト表示にします。

[E-3] : タイトル情報表示にします。

選曲モードから選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② 選曲方法を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。(手順③に進みません)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする。

アーティストリスト画面(例)

“アーティスト”と表示の画面ではリストから再生したい曲のアーティストを選んでください。

アーティストの絞り込みをせずにアルバム選択のリストに移ります。



再生画面にします。

早戻し／早送りする

1 / を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※  /  を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。* 1

一時停止する

1 をタッチする。

※一時停止中に  をタッチすると再生に戻ります。

リピート／シャッフル再生する

1 再生モード をタッチする。

2 リピート / シャッフル を選んでタッチする。

※ **シャッフル** はタッチするたびに、シャッフルトラック／シャッフルアルバム／シャッフル解除が切り換わります。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



オーディオ

再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返して再生
シャッフルトラック	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
シャッフルアルバム	現在のトラックリストの曲順をアルバム単位で順不同にして再生 (アルバム内は順番に再生)

お知らせ

- タイトル情報／選曲モードは iPod 本体に収録されている内容となります。
- iPod の機種やバージョンによっては、タイトル情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod 本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では-(ハイフン表示)となります。
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

iPodのビデオを見る

※あらかじめiPodを接続しておく必要があります。[E-25]

1 AUDIOメニュー([E-2])から **iPod** をタッチする。

※ミュージックが再生された場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチするとビデオ再生に切り換わります。

ビデオの再生画面をタッチするとタイムバーが表示されます。

さらにもう一度画面をタッチするとファイルリスト表示になります。



画面を
タッチ



ファイルリスト

全画面
→ 全画面ビデオ再生に戻します。

リスト変更
→ リストを変更してビデオを選びます。*1

再生モード
→ ミュージック再生に切り換えます。

タイムバー
(●をドラッグして再生位置をジャンプできます)

*1… **リスト変更** をタッチしてビデオを選ぶときは、ビデオを選んだ後、**再生中画面** をタッチして再生画面を表示してください。

再生するビデオを選ぶ

1 ファイルリスト([E-2]上記)から再生したいファイルを選んでタッチする。

リピート再生する

再生中のビデオを繰り返し再生します。

1 ファイルリスト([E-2]上記)表示にして、**再生モード** → **リピート** をタッチする。

※ **リピート** をタッチするたびに、リピート⇄リピート解除が切り換わります。

早戻し／早送りする

1 **⏮**／**⏭** を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ **⏮**／**⏭** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

一時停止する

1 ファイルリスト([E-2]上記)表示にして、**⏸** をタッチする。

※一時停止中に **⏸** をタッチすると再生に戻ります。

お知らせ

- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod本体でTV出力する設定にしてください。
- 映像データが無いときは画面は黒表示となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは選択(再生)できません。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。

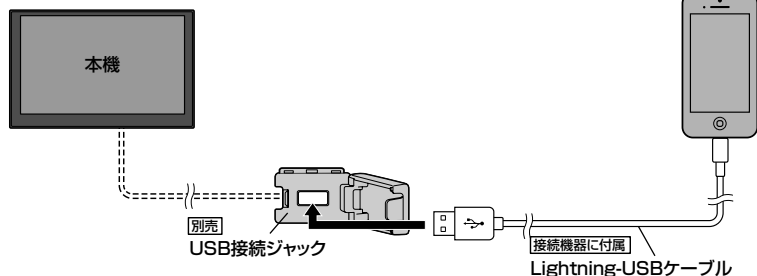
*2…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

iPodの接続

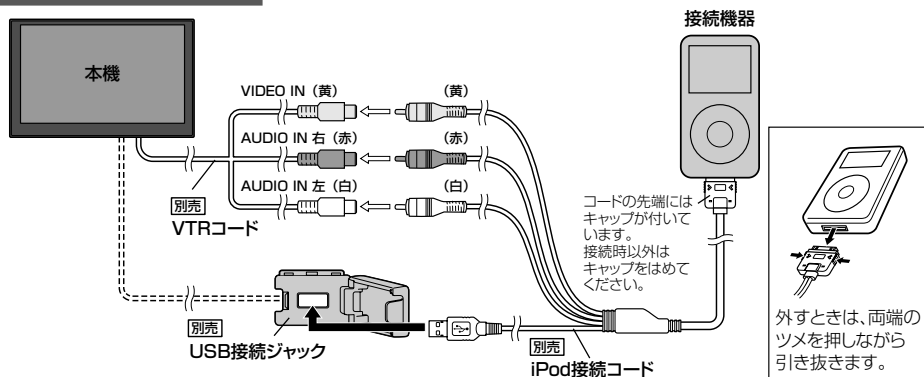
iPod / iPhone を本機に接続する

Lightning コネクタの場合

※ビデオ再生はできません



Dock コネクタの場合



オーディオ

お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくは Honda 販売店にご確認ください。
- USB 接続ジャックに USB メモリーや USB メモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。また VTR コードに VTR 機器が接続されている場合は外してください。(VTR コードは Dock コネクタの場合のみ)
- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- iPod によってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機に iPod を接続するときはヘッドフォンなどの機器は外して iPod 単体でお使いください。

Music Rack の音楽を聞く

本機でSDカードに録音した曲を再生します。再生前に、録音に使用したSDカードを挿入しておく必要があります。(録音 [E] F-2、SDカードの挿入 [E] E-32)

1 AUDIOメニュー([E] E-2)から **Music Rack** をタッチする。



選曲する

1曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

- ① [E] をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって
変わります。

選曲モードから選曲します。



再生するアルバムを
選ぶ

- ① [E] をタッチして、
アルバムリスト表示にする。
- ② 再生したいアルバムを選んで
タッチする。

お知らせ

- 選曲モードで **ジャンル** / **お気に入り**
(トラック1～トラック4)を選んだ場
合は [E] はタッチできません。
- アルバムリストは選曲モードによって
変わります。

- [E] : アルバムリスト表示にします。
- [E] : トラックリスト表示にします。
- [E] : タイトル情報表示にします。

- アルバム** : 前のアルバムに戻します。
- アルバム** : 次のアルバムに進みます。

前の／次のアルバムを
再生する

アルバム / **アルバム** をタッチ
する。

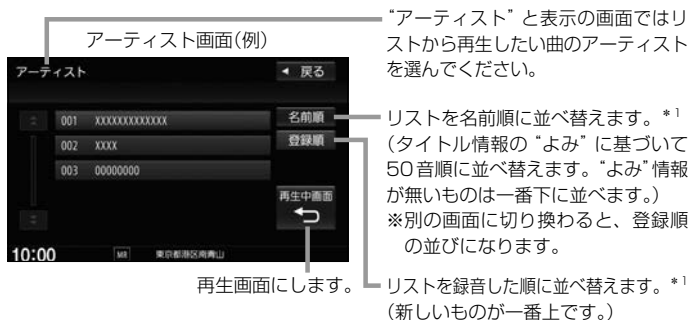
お知らせ

選曲モードで **ジャンル** / **お気に入り**
(トラック1～トラック4)を選んだ
場合は **アルバム** / **アルバム** は
タッチできません。

選曲する

選曲モードから
選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② 選曲方法を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。
(手順③に進みません)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、
再生したい曲を選んでタッチする。



*1…リストの並べ替えボタン(**名前順** / **登録順**)は、アーティストリスト表示またはアルバムリスト表示(お気に入りアルバムを除く)のときのみ表示されます。

早戻し／早送りする

- 1 **早戻し** / **早送り** を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ **早戻し** / **早送り** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*2

リピート／ランダム／スキャン再生する

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート** / **ランダム** / **スキャン** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

*2…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

BLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て

BLUETOOTH Audio 機器を再生するための準備

BLUETOOTH Audio 機器の登録と割り当てを行ってください。

BLUETOOTH Audio 機器を本機に登録する

BLUETOOTH Audio 機器の登録は、本機と BLUETOOTH Audio 機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio 機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※ BLUETOOTH Audio 機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐため周囲の他の BLUETOOTH 対応機器の電源はお切りください。

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **機器登録** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

お知らせ

新規登録するとき、すでに登録した機器が BLUETOOTH 接続中の場合は切断する必要があります。切断するかメッセージが表示された場合は **はい** を選んで切断してください。

2 BLUETOOTH Audio 機器側を操作して登録を行う。

お知らせ

登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。BLUETOOTH Audio 機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

割り当てを行う

割り当て…BLUETOOTH Audio を再生するとき、登録した機器のうちどの機器を BLUETOOTH 接続するかを設定すること。

1 **MENU** → **電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

※ BLUETOOTH Audio 機器が登録されていない場合、**登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** はタッチできません。

2 割り当てを行う機器の **接続する** をタッチする。

お知らせ

割り当てを解除するには、再度 **接続する** をタッチしてください。



お知らせ

- BLUETOOTH Audio 機器は2台まで登録可能です。
- 本機に登録済みの BLUETOOTH Audio 機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の一覧を見る

- 1 **MENU** → **電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

※ BLUETOOTH Audio 機器が登録されていない場合、**登録機器一覧** → **BLUETOOTH Audio** はタッチできません。

登録を削除する

- 1 登録機器一覧画面で、削除したい機器の **削除** をタッチする。

登録機器の詳細情報を見る

- 1 登録機器一覧画面で、詳細情報を見たい機器の **詳細** をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

- 1 **MENU** → **電話** → **設定** → **本体情報** をタッチする。

⇒BLUETOOTH情報画面が表示されます。

デバイス名を変更する

- 1 BLUETOOTH情報画面で **デバイス名変更** をタッチする。



- 2 デバイス名を入力し、**決定** をタッチする。

パスキーを変更する

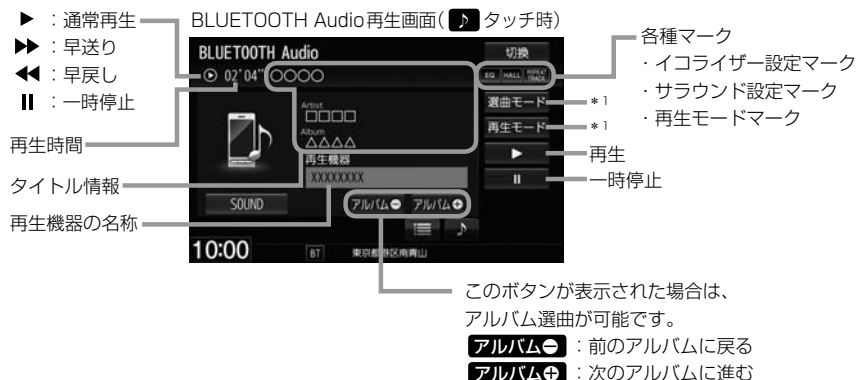
- 1 BLUETOOTH情報画面で **パスキー変更** → **BLUETOOTH Audio** をタッチする。
- 2 パスキーを入力し、**決定** をタッチする。

BLUETOOTH Audioを聞く

※あらかじめBLUETOOTH Audioの機器登録と割り当て(図 E-28)をしておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(図 E-2)から **BLUETOOTH Audio** をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは  をタッチしてください。



お知らせ

- 上記の画面表示や操作ボタンは、機器によって表示されない場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合はBLUETOOTH接続できません。
- BLUETOOTH接続・再生に時間がかかる場合があります。
- 携帯電話の仕様によっては、携帯電話側のオーディオプレイヤーを起動させる必要があります。また、オーディオプレイヤー画面中でないと正しく操作できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、オーディオ出力先を切り換えられる場合があります。その場合は出力先をBLUETOOTHにしてください。
- 機器によっては、リストを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 機器の仕様によっては、本機の表示内容は機器の表示と一致しない場合があります。また機器によっては、本機で表示できないことがあります。

* 1…AVRCP ver.1.3以下では操作非対応

選曲する

1 曲ずつトラックを
戻したり進めたりする

⏮ / ⏭ を押す。

トラックリストから
曲を選ぶ

※ AVRCP ver.1.3以下
では操作できません。

- ①  をタッチして、
トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

選曲モードから選曲します。

選曲モードから
選曲する

※ AVRCP ver.1.3以下
では操作できません。

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② 選曲方法を選んでタッチする。
- ③ 表示されるリストから順次選んで
タッチしていき、再生したい曲を
選んでタッチする。



 : タイトル情報表示にします。
 : トラックリスト表示にします。

お知らせ

- 再生したい曲を選んだ後、再生画面に戻るには **再生中画面**  をタッチしてください。
- 機器によっては **選曲モード** をタッチしても選曲モード画面を表示できない場合があります。
- 機器によっては選曲モードに表示される内容や選曲操作方法が異なる場合があります。

早戻し／早送りする

- 1  /  を押し続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※  /  を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

※ 早送り／早戻しを始めてすぐ解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は  (再生) をタッチして解除してください。

一時停止する

- 1  をタッチする。

※ 一時停止中に  をタッチすると再生に戻ります。

* 1…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

BLUETOOTH Audioを聞く

リピート／ランダム再生する

※ AVRCP ver.1.4以上でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート**／**ランダム** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。

再生モード名	動 作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生

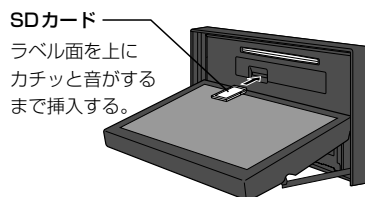


SDカードを挿入する／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

SDカードを挿入する

- 1 **▲** → **OPEN** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 SDカード挿入口にSDカードを挿入する。
※ 挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。



SDカードを取り出す

- 1 **▲** → **OPEN** をタッチする。
⇒ ディスプレイが開きます。
- 2 SDカードを1回押して、取り出す。
- 3 **▲** を押して、ディスプレイを閉じる。

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。
- 長時間使用すると、SDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- お買い上げ時、本機に8GBのSDカードが挿入されています。
- 地図SDカード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聞く

選曲する

※ WALKMAN®に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルは選曲モードの **フォルダ** でのみ再生できます。

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする	◀◀ / ▶▶ を押す。	
トラックリストから曲を選ぶ	① トラックリスト をタッチして、トラックリスト表示にする。 ② 再生したい曲を選んでタッチする。 お知らせ トラックリストは選曲モードによって変わります。	 SD 全曲 00' 17" 〇〇〇〇 Artist 〇〇〇〇 Album △△△△ Genre ***** 10:00 フォルダ フォルダ フォルダ : フォルダリスト表示にします。 トラックリスト : トラックリスト表示にします。 タイトル情報 : タイトル情報表示にします。 フォルダ- : 前のフォルダに戻します。 フォルダ+ : 次のフォルダに進みます。
再生するフォルダを選ぶ ※SDカード／USBメモリーのみ	① フォルダ をタッチして、フォルダリスト表示にする。 ② 再生したいフォルダを選んでタッチする。	
前の／次のフォルダを再生する ※SDカード／USBメモリーのみ	フォルダ- / フォルダ+ をタッチする。	
再生するアルバムを選ぶ ※WALKMAN®のみ	① アルバム をタッチして、アルバムリスト表示にする。 ② 再生したいアルバムを選んでタッチする。 お知らせ - 選曲モードで ジャンル / グループ / プレイリスト を選んだ場合は アルバム はタッチできません。 - 選曲モードで フォルダ を選んだ場合は、アルバム が フォルダ に変わり、タッチするとフォルダリスト表示になります。 - アルバムリストは選曲モードによって変わります。	 USB 全曲 05' 15" 〇〇〇〇 Artist 〇〇〇〇 Album △△△△ Genre XXXXXXXX 10:00 アルバム アルバム : アルバムリスト表示にします。

選局する

選曲モードから
選曲する

- ① **選曲モード** をタッチする。
- ② **選曲方法**を選んでタッチする。
※ **全曲** をタッチした場合は全曲リストの先頭の曲を再生します。
(手順③に進みません)
- ③ 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、
再生したい曲を選んでタッチする。

“フォルダ”と表示の画面
ではリストから再生した
い曲のフォルダを選んで
ください。

フォルダリスト画面(例)



再生画面に
します。

早戻し／早送りする

- 1 **⏮**／**⏭** を押し続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

※ **⏮**／**⏭** を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

* 1…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

リピート／ランダム／スキャン再生する

- 1 **再生モード** をタッチする。
- 2 **リピート**／**ランダム**／**スキャン** を選んで
タッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、
表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
リピートトラック	再生中の曲を繰り返し再生
ランダム	トラックリスト内でランダム再生
スキャン	曲のはじめ約10秒を再生し、次の曲に移る

SDカード／WALKMAN[®]／USBメモリーの画像を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入(☞ E-32)／WALKMAN[®]またはUSBメモリーを本機と接続(☞ E-33)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(☞ E-2)から **SD**／**USB** をタッチする。

SDカード：**SD** をタッチ、WALKMAN[®]およびUSBメモリー：**USB** をタッチ

※音楽／動画が再生された場合は、**モード切換** → **画像ファイル** をタッチすると画像再生に切り換わります。(動画再生中の場合、画面をタッチして **モード切換** を表示させてください。)

再生する画像を選ぶ

1つずつ画像を戻したり
進めたりする

◀◀ / ▶▶ を押す。

お知らせ

操作ボタン非表示時に左右ヘドレッジ／フリックしても画像を戻したり進めたりできません。

画像リストから選ぶ

※スライドショー中は
操作できません。

① **リスト** をタッチする。

※ **リスト** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

②フォルダを選んでタッチする。

③再生したい画像を選んでタッチする。

スライドショーで画像を見る

※現在選択中のフォルダ内の画像ファイルをスライドショーします。

1 **スライドショー** をタッチする。

※ **スライドショー** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。



スライドショーをやめる

終了 をタッチする。

※ **終了** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

再生間隔を変える

① **再生間隔** をタッチする。

※ **再生間隔** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

②再生間隔の時間を選んでタッチする。

③ **閉じる** → **開始** をタッチする。

表示中の画像を回転させる

※スライドショー中は操作できません。

1 **回転** をタッチする。

※ **回転** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

※ **回転** をタッチするたびに表示中の画像が90° ずつ時計回りに回転します。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る

※あらかじめSDカードを本機に挿入(🔌 E-32)／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続(🔌 E-33)しておく必要があります。

1 AUDIOメニュー(🔌 E-2)からSD／USBをタッチする。

SDカード：SD をタッチ、WALKMAN®およびUSBメモリー：USB をタッチ

※音楽／画像が再生された場合は、モード切換 → 動画ファイル をタッチすると動画再生に切り換わります。(画像再生中の場合、画面をタッチしてモード切換 を表示させてください。)

再生する動画を選ぶ

1つずつ動画を戻したり
進めたりする

⏮ / ⏭ を押す。

動画リストから選ぶ

① 再生リスト をタッチする。

※ 再生リスト は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

②再生したい動画を選んでタッチする。



リストを変更して選ぶ

① リスト変更 をタッチする。

②フォルダを選んでタッチする。
※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。

③再生したい動画を選んでタッチする。

早戻し／早送りする

1 ⏮ / ⏭ を押し続ける。

※指を離すと通常再生に戻ります。

※ ⏮ / ⏭ を一定時間以上押し続けていると、通常再生に戻ります。*1

一時停止する

1 ⏸ をタッチする。

※ ⏸ は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

※一時停止中に ⏸ をタッチすると再生に戻ります。

* 1…VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiの場合

外部機器の映像／音声を視聴する

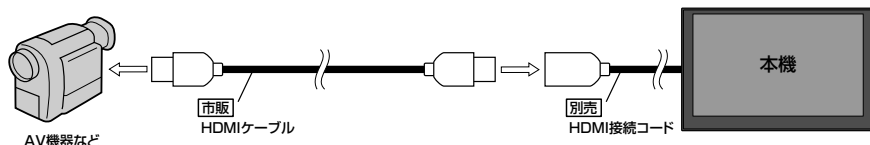
市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

外部機器の接続について

本機は外部機器と以下4通りの方法で接続できます。

HDMIケーブルで接続

※ VXM-165VFNIおよびVXM-165VFEiのみ

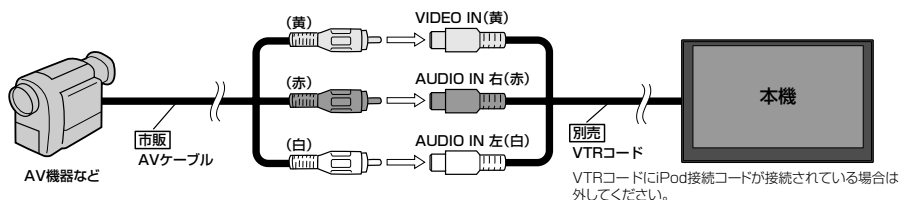


お知らせ

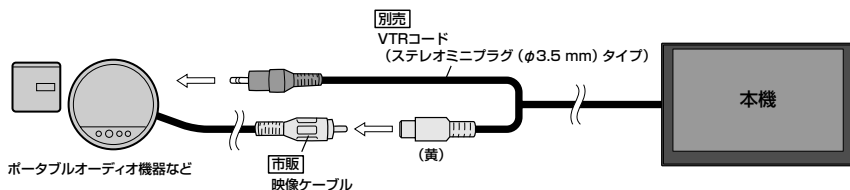
HDMIケーブルで接続した場合は、本機で接続設定が必要です。

- ① **MENU** → **設定／情報** → **サウンド** → **オーディオ詳細設定** → **外部接続** をタッチする。
- ② “HDMI接続” の **する** をタッチする。

AVケーブルで接続



ステレオミニプラグと映像ケーブルで接続



ステレオミニプラグで接続



外部機器の映像を見る／音声を聞く

準備

接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。

※本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。

1 外部機器を本機と接続する。[E-38]

※HDMIケーブルで接続する場合は、本機での接続設定も必要です。

2 本機を起動し、外部機器の電源を入れる。

3 AUDIOメニュー([E-2])からHDMI／VTRをタッチする。

HDMIケーブルで接続	HDMI をタッチ
AVケーブルで接続	VTR をタッチ
ステレオミニプラグと映像ケーブルで接続	VTR をタッチ
ステレオミニプラグで接続	VTR をタッチ

※HDMIケーブル接続は、VXM-165VFNiおよびVXM-165VFEiのみ対応しています。

4 AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

お知らせ

- 接続される機器の電源を切ってから、本機の電源を切って(車のエンジンスイッチをロックに入れて)ください。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。
- 対応している映像信号は720p、1080i、480p(16:9、4:3)です。
- HDMIで接続した機器の音声はBLUETOOTHで接続されている場合、HDMIで音声が出ないことがあります。そのような場合は機器側のBLUETOOTHの接続をOFFしてからHDMIを使用してください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)

オーディオ設定をする

1

MENU → **設定／情報** → **サウンド** をタッチする。

※ DVD を見ているときは **MENU** を 2 回押すことが必要となる場合があります。

2

サウンド画面の各ボタンをタッチして、設定を行う。

サウンド画面では、以下の設定を行うことができます。

フェード・バランス設定

前後左右のスピーカーの音量バランスを設定します。

イコライザー設定

各帯域の音のレベル設定をして、音質調整します。



音響効果の設定

サラウンドの種類を選んで設定します。

スピーカー設定

スピーカー出力レベル・スピーカーディレイ・スピーカーサイズの設定をします。

その他のオーディオ詳細設定

車速連動音量設定・HDMI接続設定をします。(HDMI接続設定は E-38)

お知らせ

- オーディオ OFF のときはオーディオ設定はできません。オーディオ ON にしてから設定してください。
- イコライザー設定と音響効果の SRS CS Auto 設定は同時に両方有効にはできません。(例：イコライザー設定をすると、音響効果の SRS CS Auto 設定は OFF になります。)

フェード・バランス設定をする

1 サウンド画面で“FADE/BALANCE”の**詳細設定**をタッチする。

2 ▼／▲／◀／▶をタッチして、調整する。

▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後スピーカーの音量が下がる。
◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。

イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。



音量バランスをセンターに戻します。

イコライザー設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“イコライザープリセット”の **VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER** から好みのイコライザー設定を選んでタッチする。

イコライザー設定を解除する

OFF をタッチする。

お知らせ

USER は初期値が OFF 状態(各帯域のレベルが全てゼロ)ですので、イコライザーの詳細設定(設定値の変更)を行って使用してください。

イコライザープリセットの設定値を変更する

- ① サウンド画面で“イコライザープリセット”の **詳細設定** をタッチする。
- ② 設定値の変更をしたいボタン(**VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER**)を選んでタッチする。
- ③ 各帯域の ▲ / ▼ をタッチしてレベルを調整する。
- ④ **登録** をタッチする。



周波数帯域

イコライザーのレベルを青色バーで表示
※この表示部分をタッチしてもレベル調整が可能です。

手順②で選んだボタンの設定値を初期値に戻します。

車速連動音量を設定する

車の速度に応じてオーディオ音量を自動調整することができます。

- 1 サウンド画面で **オーディオ詳細設定** → **車速連動音量** をタッチする。
- 2 **HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** / **OFF** から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

お知らせ

車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、オーディオ音量のみです。

オーディオ設定をする

音響効果の設定をする

※交通情報ソースを聞いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“エフェクト”の **音の匠** / **SRS CS Auto** / **DSP** から音響効果を選んでタッチする。

音響効果の設定を解除する

OFF をタッチする。

音響効果の選択ボタン



選んだ音響効果によって、この部分の表示が変わります。

音の匠	XXXXXXには車種名が入ります。
SRS CS Auto	タッチするとSRS CS Autoの詳細設定ができます。
DSP	◀ / ▶ をタッチして、音場環境を選択します。 現在選択中の音場環境

音の匠

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しむことができます。
※選択するには、専用スピーカーの装着などの車種別セットアップが必要です。車種別セットアップの詳細はHonda販売店にお問い合わせください。(車種別セットアップでスピーカー出力レベルとスピーカーディレイが最適な値に設定されます。)

SRS CS Auto

SRSのサラウンド効果を得ることができます。必要に応じて下記の詳細設定が可能です。
※2スピーカーでは、設定しても本サラウンド効果は得られません。

詳細設定

- ① “エフェクト”で **SRS CS Auto** を選んだ後、“サラウンド”の **詳細設定** をタッチする。
② **FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear** をタッチし、それぞれの画面で設定を行う。

FOCUS	感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 (車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります) + / - をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 (+ … 音の聞こえてくる位置が高くなる、- … 位置が低くなる)
TruBass	低音の強さを設定できます。 + / - をタッチして、フロントおよびリアの調整をしてください。 (+ … 低音が強くなる、- … 低音が弱くなる)
MixToRear	DVDによってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定できます。 ◀ / ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 (◀ … 出力量が小さくなる、▶ … 出力量が大きくなる)

音響効果の設定をする

DSP

いろいろな環境の音場を擬似的に再現することができます。

“エフェクト”で **DSP** を選んだ後、“サラウンド”の ◀ / ▶ をタッチして、疑似再現したい音場環境を選んでください。

- LIVE** ライブハウスのような音場
- HALL** コンサートホールのような音場
- STADIUM** スタジアムのような音場
- CHURCH** 残響音の多い教会のような音場

スピーカーの出力レベルを設定する

- 1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカー出力レベル** をタッチする。
- 2 ◀ / ▶ をタッチして各スピーカーの出力レベルを設定する。

お知らせ

0 dBが標準で、マイナス値にすると出力が小さくなります。

オーディオ

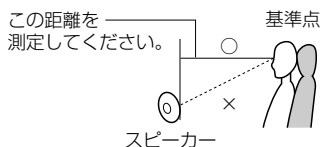
スピーカーディレイを設定する

最も距離の離れたスピーカーに合わせて他の近いスピーカーの出力タイミングを遅らせます。
(設定値 10 cm あたり約 0.3 ms 遅らせます)

- 1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカーディレイ** をタッチする。
- 2 ◀ / ▶ をタッチして視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する。

お知らせ

視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



スピーカーサイズを設定する

- 1 サウンド画面で **スピーカー設定** → **スピーカーサイズ** をタッチする。
- 2 “フロント” および “リア” それぞれの **LARGE** / **NORMAL** を選んでタッチする。

設定の目安

LARGE	スピーカーの大きさ 17 cm 以上
NORMAL	スピーカーの大きさ 16 cm 以下

※上記は目安ですので、設定する場合は SRS CS Auto を ON にした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方を選んでください。

AUDIO メニューをカスタマイズする

※お好みにカスタマイズできるのは **AUDIO** を押して最初に表示される画面のみです。

- 1 AUDIOメニュー(**E-2**)から **カスタマイズ** をタッチする。
※ **カスタマイズ** をタッチした後、メッセージが表示されますので、 **OK** をタッチしてください。
- 2 ◀ / ▶ をタッチして、画面に表示されるボタンの数(3～8個)を変更する。
- 3 各ボタンをタッチして、ボタンを変更する。
- 4 **決定** をタッチする。



配置をお買い上げ時に戻します。
(ボタンの数は戻しません)

表示されるボタンの数(3～8個)を変更するには

◀ / ▶ をタッチする。

※左右に、ドラッグ/フリックしても変更できます。

ボタンの変更を行うには

- ①変更したいボタンをタッチする。
- ②AUDIOメニュー候補が表示されるので、新しく表示するボタンを選んでタッチする。
- ③ **戻る** をタッチする。

お知らせ

手順 **3** ですでに配置されているボタンをメニュー候補から選んだ場合、そのボタンはもとの位置から指定位置へ移動され、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。

例) **CD** を **TV** に変更する場合

TV はすでに配置されています。



メニュー候補から
TV を
タッチすると…



もとの **TV** は何も配置されていない状態になります。

